
2024 年度
入校・履修の手引き

Nitobe College

北海道大学 新渡戸カレッジ
学部カリキュラム

Ⅰ.	新渡戸カレッジについて	1
1.	新渡戸カレッジの教育理念と目標	2
1-1.	北海道大学の教育研究に関わる基本理念	2
1-2.	新渡戸カレッジの設立	2
1-3.	新渡戸カレッジ入校の方針（アドミッションポリシー）	2
1-4.	新渡戸カレッジ教育実施の方針（カリキュラムポリシー）	2
1-5.	新渡戸カレッジ修了認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）	3
2.	新渡戸カレッジ入校前の準備期間（プレプログラム期間）	3
2-1.	プレプログラム期間に学ぶこと	3
2-2.	オナーズプログラムに入校するための要件について	3
2-3.	プレプログラム期間に履修・修得することのできる入校要件以外の授業科目	3
2-4.	履修における注意点	4
2-5.	入校要件の授業科目「グローバル基礎科目（全学教育科目・総合科目(特別講義)）」 について	4
2-6.	新渡戸カレッジ入校申請等	5
2-7.	新渡戸カレッジへの入校時期	5
2-8.	新渡戸カレッジ入校説明会	5
3.	新渡戸カレッジオナーズプログラムの構成	6
4.	オナーズプログラム学部カリキュラムの構成	6
4-1.	オナーズプログラム学部カリキュラムで学ぶこと	6
4-2.	オナーズプログラムへの入校時期について	6
5.	オナーズプログラムへの入校から修了まで	6
5-1.	オナーズプログラムへの入校申請について	7
5-2.	入校式について	7
5-3.	毎年度の在籍確認について	7
5-4.	オナーズプログラムの修了要件について	8
5-5.	修了者への称号授与について	8
5-6.	称号授与の基準	8
5-7.	オナーズプログラムの退校について	8

II.	学部カリキュラムについて	9
1.	履修における注意点	10
2.	学部カリキュラム授業科目	11
2-1.	留学支援英語（全学教育科目：英語演習（上級））	11
2-2.	フィールド型演習（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））	13
2-3.	多文化交流科目（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））	14
2-4.	海外短期語学研修（サマープログラム、スプリングプログラム）	15
2-5.	国際交流科目	15
2-6.	日本文化・社会に関する理解増進科目	15
2-7.	大学と社会（全学教育科目：総合科目（特別講義））	15
2-8.	グローバル・キャリア・デザイン	16
2-9.	新渡戸学（フェローゼミ）	16
2-10.	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	17
2-11.	専門横断科目	18
2-12.	英語による学部専門科目	18
2-13.	インターンシップ（国内）	18
2-14.	海外留学	18
2-15.	新渡戸カレッジ教育実施の方針（カリキュラムポリシーと各授業科目）	23
III.	学びを充実させるためのしくみ	24
1.	フェロー・メンター制度	25
1-1.	フェロー・メンター制度の意義について	25
1-2.	フェローの担当する授業について	25
2.	チューター制度	25
2-1.	チューター制度の意義について	25
2-2.	チューターの募集について	25
2-3.	コアチューターについて	26
2-4.	チューターの採用スケジュール（予定）について	26
3.	授業以外のプログラム・行事	27
3-1.	ポイント制度	27
3-2.	講演会・レクチャーシリーズ	27
3-3.	入校式（新渡戸カレッジ生・フェローと関わる行事）	28

3-4.	その他の大学による行事・プログラム	28
3-5.	学外のコンペティション等への参加・学生による企画	29
3-6.	学生による企画行事	30
4.	活動・交流の場：新渡戸カレッジ学生交流室（大塚ルーム）	30
4-1.	利用対象者	30
4-2.	利用可能時間帯	30
4-3.	利用予約方法	30
4-4.	利用にあたっての注意事項	30
IV.	新渡戸カレッジ関連資料	32
1.	新渡戸カレッジ相談先	33
2.	学部カリキュラムの授業科目単位の取扱い・履修に関する注意事項	34
3.	入校（オナーズプログラム）までの手続き事項	36
4.	履修に関するQ & A	37
	2024 年度の予定（4～9 月）	39
	2024 年度の予定（10～3 月）	40
V.	巻末資料	41
	別表：国際交流科目	42
	別表：日本文化・社会に関する理解増進科目	48
	別表：専門横断科目	50
	別表：英語による学部専門科目	53

本手引きは、学部カリキュラムについて記載しています。大学院カリキュラムに関心のある方は、下のQRコードより新渡戸カレッジウェブサイトアクセスして関連する情報をご覧ください。



I. 新渡戸カレッジについて

1. 新渡戸カレッジの教育理念と目標

1-1. 北海道大学の教育研究に関わる基本理念

北海道大学は、理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く、日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は、1876年に設立された札幌農学校に遡ることができます。帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ、今日まで学問の自主、自由の精神を培ってきました。

1-2. 新渡戸カレッジの設立

札幌農学校第二期生である新渡戸稲造は、その豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す人材養成において、ひとつの規範とすべき存在として位置づけられます。経済活動等の急速なグローバル化が進行し、人、物、情報が瞬く間に世界を駆け巡る現代においてこそ、下記に示す「**新渡戸稲造の精神**」が重要性を増しつつあります。政治・経済や外交だけではなく、幅広い分野にわたって、高い精神性と多文化理解、コミュニケーション力を身につけた人間を育成することが、総合大学としての本学の使命と考えています。

北海道大学は「新渡戸稲造の精神」を21世紀的課題と捉えてその具現化を目指し、2013年4月、学部・学科の枠を超えた新たな学士課程プログラム「**新渡戸カレッジ**」を設立しました。

新渡戸稲造の精神

- (1) 各国・各地域間の架け橋となるべき「**国際的精神の涵養**」
- (2) 深い専門性の探究に加えて「**幅広い一般的教養の修得**」
- (3) 社会的リーダーにともなう義務「**ノブレス・オブリージュの遂行**」

(出典：『帰雁の蘆』 『内観外望』 『武士道』)

1-3. 新渡戸カレッジ 入校の方針（アドミッションポリシー）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの履修を通して、グローバルリーダーを育成します。そのため、新渡戸稲造から学ぶ精神を理解するとともに、新渡戸カレッジで学修する意欲にあふれ、またその教育を受けるにふさわしい外国語能力を有する学生を受入れます。

1-4. 新渡戸カレッジ 教育実施の方針（カリキュラムポリシー）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶべき精神に基づきつつ、各々の学問分野における専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムでの学びや海外体験などを通して、以下に記す力を身につけ、それらを発揮できるグローバルリーダーを育成します。

- **自己成長力**（自律的な個人の確立に向けて、継続的に精励する力）
- **コミュニケーション力**（外国語運用能力を含む、高いコミュニケーション力）
- **多文化理解力**（文化的背景の異なる他者の考えを理解し、尊重する力）
- **課題解決力**（さまざまな課題に対して、周囲との協働により解決を図る力）
- **社会的倫理観**（社会的役割を認識し、責任感・倫理観をもって行動する力）

1-5. 新渡戸カレッジ 修了認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムでの学びや海外体験などを通して、5つの力を身につけることを目標とします。その5つの力、すなわち自己成長力、コミュニケーション力、多文化理解力、課題解決力、社会的倫理観を有すると認められる者に修了を認定し、称号等を授与します。

2. 新渡戸カレッジ入校前の準備期間（以下「プレプログラム期間」という。）

2-1. プレプログラム期間に学ぶこと

新渡戸カレッジオナーズプログラム（以下「オナーズプログラム」という。）への入校希望者は、それに先立ち、1年次第1学期の半年間は、入校前のプレプログラム期間として学びます。ここでは、入校前に必要な授業や活動を通して、専門分野およびオナーズプログラムでの学びの土台となる意識やスキルの確立・習得を目指します。また、英語力の向上につとめる必要もあります。

プレプログラム期間では、次のことを意識して学習します。

- 1) 学習に関する意識を転換させる
専門分野を究めるにあたり、これまでの基礎知識の獲得を中心とした学習から、目的意識を明確に持って能動的に進める学習への意識変換を求めます。
- 2) グループ学習を通してリーダーシップ、チームワークの力を身につける
- 3) 海外留学の意義を考える
- 4) コミュニケーションの手段としての英語力の向上をはかる

プレプログラム期間は、オナーズプログラムへ入校するための準備期間です。半年間の学びを通して、必要な要件を充たした者に対して選抜を行い、オナーズプログラムへの入校を認めます。そのため、プレプログラム期間は、新渡戸カレッジ生ではありません。

オナーズプログラム入校後は、新渡戸カレッジ生として、特別教育プログラム独自の授業科目等を履修します。

2-2. オナーズプログラムに入校するための要件

1年次第1学期において、以下の事項のすべてを充たした学生は、1年次第2学期からはじまるオナーズプログラム入校への申請を行うことができます。

- 1) 「グローバル基礎科目」（全学教育科目総合科目特別講義）を履修し、単位を修得すること
「グローバル基礎科目」は「国際理解と海外留学」（春ターム開講・1単位）と「リーダーシップとチームワーク」（夏ターム開講・1単位）の2科目から構成されます（詳細は p.4）。
オナーズプログラムへ入校するためには、上記の2科目を履修し、計2単位を修得する必要があります。
- 2) TOEFL-iBT 61 点（あるいは TOEFL-ITP 500 点）相当以上の英語力を身につけること

2-3. プレプログラム期間に履修・修得することのできる入校要件以外の授業科目

オナーズプログラムに入校するための要件は、上記の1) 2) ですが、それ以外に、プレプログラム期間に、履修・修得することの可能な授業科目は、次のとおりです。

- 「留学支援英語」 (2単位)
- 「海外短期語学研修」 (2単位)
- 「国際交流科目」 (1or2単位)
- 「日本文化・社会に関する理解増進科目」 (1or2単位)
- 「インターンシップ (国内)」 (1or2単位)
- 「フィールド型演習」 (2単位)
- 「多文化交流科目」 (2単位)

上記の授業科目は、プレプログラム期間に履修することが可能で、かつ修得した単位は、オナーズプログラム入校後、同プログラムを修了するのに必要な単位として算入されます。

とりわけ、「留学支援英語」は、オナーズプログラムの必修科目「海外留学」に先立って履修するのが望ましいことから、1年次のうちに履修することを推奨します。

また、2年次の学部学科移行先によっては、学部の専門分野の必修科目が多く、新渡戸カレッジの授業を履修・修得するのが難しい場合があります。その点も考慮しながら、オナーズプログラム修了に向けて、あらかじめ1年次第1学期のプレプログラム期間から、計画的に授業科目を履修し、単位を修得することを目指してください。

なお、上記の授業科目のうち、履修希望者が受入人数を超えた場合は、抽選となることがあります。履修についての質問・相談は、新渡戸カレッジ担当 (高等教育推進機構⑥番窓口) で受け付けます。

2-4. 履修における注意点

オナーズプログラムへ入校するためには、プレプログラム期間において「グローバル基礎科目 (国際理解と海外留学)」 (1単位) と「グローバル基礎科目 (リーダーシップとチームワーク)」 (1単位) を履修し、計2単位を修得する必要があります。

- 「留学支援英語」は、オナーズプログラム修了時までには履修、修得すべき必修科目ですが、プレプログラム期間中にあらかじめ履修、修得することができます。また、開講時期は、第1学期・第2学期・夏季 (集中講義) ・春季 (集中講義) が予定されていますが、詳細は掲示板などで確認してください。なお、春季 (集中講義) の単位は、次年度に修得した形となりますので、留意してください。また、卒業年次の春季 (集中講義) は履修できません。
- プレプログラム期間に修得したオナーズプログラムの選択科目の単位は、オナーズプログラムを修了するための単位として算入されます。

2年次以降、学部の専門科目と時間帯が重なり学部カリキュラム科目の履修がより難しくなるため、1年次のうちに可能な選択科目を履修することを推奨します。

- 「フィールド型演習」 (p.13) や「多文化交流科目」 (p.14) などの1年次生対象の「一般教育演習 (フレッシュマンセミナー)」は1年次の間に履修することを推奨します。

2-5. 入校要件の授業科目「グローバル基礎科目 (全学教育科目・総合科目 (特別講義)) について

「グローバル基礎科目」は、オナーズプログラムへの入校を希望する1年次学生を対象とする必修科目で、全学教育科目の総合科目 (特別講義) としても単位が認定されます。

そのうち「国際理解と海外留学」 (春ターム) では、新渡戸稲造の生涯や思想などを参考にしつつ、国際社会における課題や各研究分野の状況、留学の実態などを知り、キャリアデザインの観点から自分の留学の目的と意義を考えるとともに、今後の留学に向けて主体的・計画的に行動できるようになることを目指します。

また「リーダーシップとチームワーク」 (夏ターム) では、現代社会のかかえる具体的な課題につい

て、各自の資料調査とグループ活動を通じて、リーダーシップについて自分の考えを深め、チームの中で自ら望ましいリーダーシップを発揮できるようになることを目指します。

【1学期】

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員
1	グローバル基礎科目 (国際理解と海外留学)	(春) 金5 (金6)	井上修一・児矢野マリ・佐々木啓・ 日野峰子・シュルーター智子・ 樋田京子・ラフェイ ミシェル・ 弐 和順
1	グローバル基礎科目 (リーダーシップとチームワーク)	(夏) 金5 (金6)	内田治子・シュルーター智子・ 畑中貴美・弐 和順

注意事項

- 金曜日5講時の受講希望者が多数の場合、抽選により、金曜日6講時に実施する同一授業の受講となる場合があります。
- 初回の授業には、特別な理由がない限り必ず出席してください。

2-6. 新渡戸カレッジ入校申請等

上記 2-2. オナーズプログラムに入校するための要件を満たす学生は、課題レポートを作成のうえ、入校申請を行うことができます。

英語のスコアについては、1年次学生に対して、毎年6月中旬頃に全学教育科目英語IIの一環として、TOEFL-ITPの試験が実施されますので、必ず受験してください。また、学生自身が過去2年以内に取得したTOEFL-iBT または TOEFL-ITPのスコアの提出も可能です（英検を含む他の英語試験のスコアは認めません。）。

課題レポートは、作成方法に関する指示に従ってください。

オナーズプログラムへの入校人数は、150名程度です。上記 2-2.の要件に加えて、課題レポートを審査のうえ、合否判定を行います。入校申請の状況により、英語スコアが基準点（TOEFL-iBT 61点あるいは TOEFL-ITP 500点）以上でも合格にならない場合があります。

- 入校申請期間（2024年度）
8月22日（木）～8月28日（水）23:59
- 合格発表（掲示板及びELMSメールにより通知）
9月20日（金）※時間は改めて通知

2-7. 新渡戸カレッジへの入校時期

オナーズプログラムへの入校は、1年次第2学期（10月）に限られています。2年次からの入校は認められませんので、注意してください。ただし、現代日本学プログラム課程在籍の学生（留学生）の入校時期は、2年次第2学期とします。

2-8. 新渡戸カレッジ入校説明会

新渡戸カレッジでは、4月上旬と7月下旬から8月上旬頃に入校説明会を開催します。日時等詳細については、別途お知らせします。入校説明会では、新渡戸カレッジ全般に関するもののほか、4月は、特に入校までの準備について、7-8月は、特に入校申請から入校後のオナーズプログラムについて説明を行う予定です。

3. 新渡戸カレッジオナーズプログラムの構成

新渡戸カレッジオナーズプログラムは、学部カリキュラムと大学院カリキュラムの2つから構成されます。学部カリキュラムは、本学の学部学士課程に在籍する学生を対象とし、大学院カリキュラムは、本学大学院修士課程あるいは専門職学位課程に在籍する学生を対象とします。

新渡戸カレッジには、チューター制度（Ⅲ 2-1 **チューター制度の意義について**（p.25））など、両カリキュラムの学生がともに学び、交流するしくみが設けられています。

4. オナーズプログラム学部カリキュラムの構成

オナーズプログラムに入校した学生は、本学の学士課程教育（全学教育および各学部における専門教育）に加えて、特別教育プログラムとして実施される新渡戸カレッジ独自の学部カリキュラムにそって教育を受けます。

オナーズプログラム入校後は、新渡戸カレッジ生として、特別教育プログラム独自の授業科目等を履修します。また、毎年度、在籍確認が行われます。その上で、オナーズプログラムでの学びを通して、必要な要件を充たしたカレッジ生に対して、修了を認定し、称号を授与します。

なお、新渡戸カレッジにおいて学ぶ授業科目については、（Ⅱ 1 **履修における注意点**（p.10））を参照ください。

4-1. オナーズプログラム学部カリキュラムで学ぶこと

オナーズプログラム学部カリキュラムでは、プレプログラム期間の学習における意識転換やさまざまなスキルの修得をさらに発展させるとともに、その後、卒業までの期間において、海外への留学や発展的な学習、自発的な活動への積極的参加によって、新渡戸カレッジの教育目標である5つの力（自己成長力、コミュニケーション力、多文化理解力、課題解決力、社会的倫理観）を身につけ、それらを発揮できるグローバルリーダーとなることを目指します（Ⅰ 1-4 **新渡戸カレッジの教育実施の方針**（p.2））。

4-2. オナーズプログラムへの入校時期について（2-7. 参照）

オナーズプログラムへの入校は、1年次第2学期からに限られています。2年次からの入校は認められませんので、注意してください。ただし、現代日本学プログラム課程在籍の学生（留学生）の入校時期は、2年次第2学期からとします。

5. オナーズプログラムへの入校から修了まで

プレプログラム期間において、必要な要件を充たした学生は、課題レポートを作成のうえ、オナーズプログラムへの入校申請を行い、審査の結果、合格が認められたら、新渡戸カレッジ生となります。

オナーズプログラムは、入校後、学部の卒業時まで続きますが、毎年度の在籍確認が必要です。

卒業時、すべての要件（5-3 **オナーズプログラムの修了要件について**（p.8））を充たすことにより、オナーズプログラムの修了が認められ、「称号」が授与されます。

5-1. オナーズプログラムへの入校申請について (2-6. 参照)

オナーズプログラムへの入校を希望する学生は、4月と7-8月に開催される新渡戸カレッジ入校説明会に参加してください。その上で、2024年8月の受付期間内に入校申請をしてください。次の3つの条件を充たしている場合に入校を認めます。

- プレプログラム期間において必要な授業の単位を修得していること。
- 英語能力の水準を充たしていること
- 課題レポートを提出し、審査に合格すること

※重要※ 入校申請の状況により、英語スコアが基準点 (TOEFL-iBT 61点 あるいは TOEFL-ITP 500点) 以上でも合格にならない場合があります。

合格者は、高等教育推進機構 1F 新渡戸カレッジ⑥番窓口前の新渡戸カレッジ掲示板に掲示します。

5-2. 入校式について (III 3-3 入校式(28P)参照)

新しく入校した学生が、カレッジ生としての自覚を持って学習や活動に臨む姿勢を確立することを目的に実施します。特別な理由がない限り参加してください。なお、入校式終了後引き続き、第1回目の新渡戸学 (フェローゼミ) (II 2-9 新渡戸学 (フェローゼミ) (p.16)) を実施する予定です。

実施日	時刻 (予定)	場 所
10/5 (土)	9:30 - 10:30	高等教育推進機構 大講堂 (Sky HALL)

5-3. 毎年度の在籍確認について

オナーズプログラムへの入校後、翌年度以降も新渡戸カレッジ生として在籍するためには、4年制の学部の場合は2~3年次、6年制の場合は2~5年次まで毎年度、定められた期間内に次の1)と2)の両方を提出する必要があります。

1) 「振り返りレポート」

新渡戸カレッジ生として、1年間の学びと活動を振り返ってレポートを作成し、期間内 (2025年2月10日 (月)~2月21日(金)) に提出してください。

2) 英語テストのスコア

年度内に下記の1)か2)の英語テストを受験し、期間内 (2025年1月20日(月)~1月31日(金)) に提出してください。

※休学中は、原則、振り返りレポート及び英語テストのスコアの提出は必要ありません。詳細はメール (nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp) または、⑥番窓口にお尋ねください。

対象となる英語試験受験の機会

1) 新渡戸カレッジ主催による TOEFL-ITP 受験の機会

- 新渡戸カレッジが受験料を負担するため、新渡戸カレッジ生は無料で受験できます。
- 札幌キャンパスでは年1回 (12月) に実施します (函館キャンパスは別の日)。
- 実施日が決まった時点で ELMS で通知します (函館キャンパスでは学内掲示も行います)。

2) 新渡戸カレッジ主催以外での英語試験の機会

- TOEFL-ITP、TOEFL-iBT、IELTS、TOEIC などの英語テストを受けても構いません。
- 受験料は自己負担となります。

5-4. オナーズプログラムの修了要件について

次の2つの要件を充たすことでオナーズプログラムの修了が認められます。

- 1) 所属学部において卒業の認定を受けること
- 2) オナーズプログラム学部カリキュラム (III 1 履修における注意点 (p. 10)) に沿って計9単位以上の科目を修得すること

5-5. 修了者への称号授与について

通算 GPA (Grade Point Average) が、所属する学部など (学科、課程、ほか履修上の区分) の最終年次在学者の上位 50%以内であり、かつ、TOEFL-iBT 80 点 (あるいはそれに相当) 以上の英語力を有する修了生には、5-5の基準に応じて「Summa cum Laude」(with highest honor)、「Magna cum Laude」(with great honor)、「Cum Laude」(with honor)のいずれかが授与され、それ以外の修了生には「Associate」が授与されます。

5-6. 称号授与の基準

通算 GPA の確認方法 (学部別)

文学部 法学部 経済学部 理学部 (物理学科以外) 工学部 農学部 水産学部	学部、学科、課程、学部規程に定める履修上の区分 (分野・コース) における通算 GPA 順位のうち、最も上位にあるもので判定する
教育学部 歯学部	学部の通算 GPA の順位で判定する
理学部物理学科	学部専門科目の通算 GPA の順位で判定する
医学部医学科 医学部保健学科 薬学部薬科学科 薬学部薬学科	学科の通算 GPA の順位で判定する
獣医学部	全科目の通算 GPA と学部専門科目の通算 GPA のいずれか順位の高い方で判定する

TOEFL-iBT の換算スコア (称号授与のため)

TOEFL-iBT	TOEFL-ITP	IELTS	TOEIC・TOEIC-IP*
80	550	6.5	730
90	577	6.5	807
100	600	7.0	873

* 北大以外の会場で受験した TOEIC-IP のスコアは換算の対象にならないので注意してください。

5-7. オナーズプログラムの退校について

オナーズプログラムを退校になる場合として次の2つがあります。

- 所定の期間内に在籍確認 (5-3 毎年度の在籍確認について (p. 7)) を行わなかった場合。
- 学生から退校を申し出た場合 (メール <nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp> にて、所属学部等、学生番号、氏名、退校希望年月日、退校理由をお知らせください。)

なお、退校後の再入校は認めません。

II. 学部カリキュラムについて

1. 履修における注意点

新渡戸カレッジ生は、所属の学部・学科の学習に加えて、「学部カリキュラム授業科目一覧」表に示す学部カリキュラムの科目を履修します。学部カリキュラムは所属学部・学科を問わず、すべての新渡戸カレッジ生に適用されます。

学部カリキュラムを履修する上で、以下の点に注意してください。

- 学部カリキュラムの科目には、所属学部の進級・卒業単位に含まれるものと含まれないもの（新渡戸カレッジ独自の科目など）があります。
- 必修科目を必ず履修し、単位を修得してください。
- 選択科目については、所属学部の実行教育課程を考慮の上、修了に必要な単位数分以上を履修し、単位を修得してください。
- オナーズプログラム修了までに履修が必要な選択科目のなかには、プレプログラム期間に履修が可能なものがあります（プレプログラム期間に修得した単位は、オナーズプログラム入校後、同プログラムを修了するのに必要な修得単位数に算入されます）。

履修についての質問・相談は、新渡戸カレッジ担当（高等教育推進機構⑥番窓口）で受け付けます。

学部カリキュラム授業科目一覧

科目名	単位数	備考
① 新渡戸学（フェローゼミ）	1	新渡戸学（フェローゼミ）を含む4単位以上を修得すること。 新渡戸学（フェローゼミ）の単位は、1年次に修得すること。
① 海外留学	1 or 2	
② 留学支援英語	2	5単位以上を修得すること。
① 新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	1	
② 海外短期語学研修	2	
③ 国際交流科目	1 or 2	
② 日本文化・社会に関する理解増進科目	1 or 2	
② フィールド型演習	2	
② 多文化交流科目	2	
② 大学と社会	1	
② グローバル・キャリア・デザイン	2	
④ 専門横断科目	1 or 2	
④ 英語による学部専門科目	1 or 2	
② インターンシップ（国内）	1 or 2	

注) ①：新渡戸カレッジ独自科目、②：全学教育科目、③：国際教育科目、④：専門教育科目

オナーズプログラムを修了するには、「新渡戸学（フェローゼミ）」（1単位）、「留学支援英語」（2単位）、「海外留学」（1単位以上）および「選択科目」（5単位以上）を履修し、計9単位以上を修得することが必要です（I 5-3 **オナーズプログラムの修了要件について**（p.8））

- プレプログラム期間に修得したオナーズプログラムの選択科目の単位は、オナーズプログラム修了のための単位として算入されます。

ただし、「新渡戸学（フェローゼミ）」「新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）」
「海外留学」は、オナーズプログラム生のみ対象の授業科目です。プレプログラム期
間に履修することはできません。
また、2年次から履修可能となる科目は、1年次に履修することはできません。

- 新渡戸カレッジオナーズプログラム在籍生のうち、希望者には「グローバル基礎科目」と「新渡戸学（新渡戸カレッジ独自科目）」におけるチューターとして学生をサポートするしくみがあります（Ⅲ 2-2 **チューターの募集について**（p.25））。

2. 学部カリキュラムの授業科目

オナーズプログラム学部カリキュラムの授業科目について説明します。

2-1. 留学支援英語（全学教育科目：英語演習（上級））

留学支援英語Ⅰ～Ⅲは、全学教育科目の英語演習（上級）としても単位が認定されます。

英語演習（上級）は、英語を母語とする講師の指導のもと、1 クラス 20 人以下の少人数クラスで実践英語を学ぶ授業です。英語によるコミュニケーション能力の向上、留学時に必要なアカデミックスキルの修得を目指して、レベル別の授業を開講します。教員による会話とライティング、プレゼンテーションを中心とした実践的な英語の授業を行います。

留学支援英語は、オナーズプログラム修了のための必修科目の一つです。ただし、プレプログラム期間から履修することができ、そこで修得した単位は、オナーズプログラム修了の単位に算入されます。また、留学支援英語という科目名からも明らかなおと、海外留学に先立って、英語力の向上を目指すための授業科目です。したがって、プレプログラム期間、もしくはオナーズプログラムの早期の段階での履修を推奨します。

1 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	月 1	学外講師	20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	月 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	火 2		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	火 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	水 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	水 4		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1)	木 2		20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2024 (1)	金 1		20
	上級：留学支援英語Ⅲ 2024 (1)	金 2		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2024 (1 集中)	集中		20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2024 (1 集中)	集中		20

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語 I 2024 (2)	月 2	学外講師	20
	上級：留学支援英語 I 2024 (2)	月 3		20
	上級：留学支援英語 I 2024 (2)	火 2		20
	上級：留学支援英語 I 2024 (2)	火 3		20
	上級：留学支援英語 I 2024 (2)	火 4		20
	上級：留学支援英語 I 2024 (2)	水 4		20
	上級：留学支援英語 II 2024 (2)	月 4		20
	上級：留学支援英語 II 2024 (2)	木 2		20
	上級：留学支援英語 III 2024 (2)	水 5		20
	上級：留学支援英語 I 2024 (2 集中)	集中		20
	上級：留学支援英語 II 2024 (2 集中)	集中		20

夏季集中講義

単位	講義題目	期間 (予定)	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語 I 2024 (1 集中)	8/5 (月) ~8/9 (金)	学外講師	20
	上級：留学支援英語 II 2024 (1 集中)	8/19 (月) ~8/23 (金)		20

春季集中講義

単位	講義題目	期間 (予定)	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語 I 2024 (2 集中)	2/4 (火) ~2/10 (月)	学外講師	20
	上級：留学支援英語 III 2024 (2 集中)	2/13 (木) ~2/19 (水)		20

※ 集中講義は、2~4講時に開校予定。土日祝日を除く。

※ 春季集中講義の単位は、単位認定上、次年度に修得した形となりますので、留意してください。卒業年次の春季集中講義は履修できません。

注意事項

自分の英語力 (TOEFL スコア) に合ったレベルのクラスを選択してください。

留学支援英語クラス	英語力 (TOEFL-iBT)	英語力 (TOEFL-ITP)
I	61~70	500~526
II	71~78	527~549
III	79以上	550以上

※ 定員を超えた履修希望者がいた場合は新渡戸カレッジ生を優先します。

「留学支援英語」以外の英語力を磨く機会

学内には、留学支援英語のほかにも、以下のとおり、英語力の向上につながる取組みがあります。いずれも新渡戸カレッジの学部カリキュラムの選択・必修科目ではありませんが、自主的に英語力を高める機会として積極的に利用してください。

1) 英語演習上級・英語資格試験対策講座

全学教育科目の英語演習として開講される科目です。

英語資格試験（IELTS）の全体および各技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）のスコアの向上に必要なスキルを学び、実践での活用をはかります。

2) 英語コミュニケーション

英語が堪能な留学生チューターを囲んで、さまざまなテーマについて気楽に英語で話す学習サポートで、TOEFL や TOEIC などの資格試験対策に役立つような内容も可能です（詳細はラーニング・サポート室に確認してください）。

3) 学部での独自の取り組み

上記以外に、英語力向上に向けて独自の取り組みを行う学部があるので、自分の所属する（あるいは所属予定の）学部の掲示板等を確認してください。

2-2. フィールド型演習（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））

フィールド型演習は、テーマごとに少人数クラス（20 名程度）に分かれて行う体験型演習です。履修を通して、チームワークの重要性を認識し、リーダーシップやリスクマネジメントを体験する機会が得られます。学部カリキュラムに加え、全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）としても単位が認定されます。

1 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	南紀熊野の自然と人々の暮らし・夏期編	集中	岸田 治	未定
	International Archaeological Field School in Rebun Island	集中	加藤 博文	10
	北海道のフィールドで協同組合を学ぶ	集中	小林 国之	未定
	海のフィールドに出よう 1	集中	大西 広二	10
	海のフィールドに出よう 2	集中	大西 広二	10
	海のフィールドで試す 1	集中	大西 広二	10
	海のフィールドで試す 2	集中	大西 広二	10
	北海道の自然と人	集中	渡邊 悌二	未定
	牧場の暮らしと自然・夏季編	集中	河合 正人	16
	フィールド体験型プログラム-人間と環境科学-(1)	集中	中村 剛	30
	北海道東部の水域生態系	集中	仲岡 雅裕	8
	森 里 海 連環学 北大・京大合同演習	集中	仲岡 雅裕	8
	海と湖と火山と森林の自然	集中	長里 千香子	20
	北海道北部の森と人々の暮らし 2024 夏	集中	高木 健太郎	20

注) 定員は、令和5年度の定員を記載しているため、変更の可能性があります。

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	牧場のくらしと自然・冬季編	集中	河合 正人	16
	身近な食べ物づくり演習	集中	星野 洋一郎	12
	フィールド体験型プログラム-人間と環境科学-(2)	集中	中村 剛	22
	南紀熊野の自然と人々のくらし・初春編	集中	岸田 治	15
	北大発！これからの国土ー地域デザイン～厳寒の森と湖の里で～	集中	中路 達郎	28

注) 定員は、令和5年度の定員を記載しているため、変更の可能性があります。

2-3. 多文化交流科目（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））

多文化交流科目は、多文化状況に関する知識・理解を促進し、外国人留学生と日本人学生との協働学習により、多様な背景の人々とともに課題を解決する技法の教育を目的とします。学部カリキュラムに加え、全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）としても単位が認定されます。

1 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	日本における哲学と宗教	月 3	山畑 倫志	25
	札幌をフィールドワークする	月 4	青木 麻衣子	20
	世界の 7000 の言語と日本語	火 3	平田 未季	24
	多文化コミュニケーション講座	火 4	杜 長俊	24
	日本語のコミュニケーションスタイル	水 4	鄭 恵先	25
	考え方の技術	木 5	小林 由子	30
	「国際交流」を考える	金 2	青木 麻衣子	20
	日本語で育つ子どもたち	金 4	式部 絢子	20
	多文化共生入門ゼミ	金 5	式部 絢子	20

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	札幌をフィールドワークする	月 4	青木 麻衣子	20
	知る・実践する日本語教育	火 3	平田 未季	24
	北海道大学を発見しよう	火 3	奥本 素子	20
	学校生活についての多文化理解と協働探究	火 5	杜 長俊	24
	教育について論じよう	水 2	山田 悦子	16
	日本語のコミュニケーションスタイル	水 4	鄭 恵先	25
	考え方の技術	木 5	小林 由子	30
	アジアの学生と日本語で世界の課題を話し合おうーオンライン協働学習ー	木 5	鄭 恵先	10
	「国際交流」を考える	金 2	青木 麻衣子	20
	ライフストーリーを聞く・語る	金 3	近藤 弘	20
	日本語で育つ子どもたち	金 4	式部 絢子	20
	多文化共生入門ゼミ	金 5	式部 絢子	20

2-4. 海外短期語学研修（サマープログラム、スプリングプログラム）

海外短期語学研修は、外国語コミュニケーション能力を高め、多文化理解能力を養い、国際的に活躍できる人間を育成することを目的とした、外国語圏の教育機関における2週間以上の短期語学研修です。

全学教育科目の外国語演習（講義題目：海外短期語学研修）の一部として位置づけられており、サマープログラム、スプリングプログラムとして、海外に渡航する期間が数週間程度の語学学習および多文化体験を中心としたプログラムとなっています。

本プログラムを外国語演習として履修した場合、学部カリキュラムの授業科目「海外短期語学研修」の単位を認めます（詳細は「北大生のための留学ハンドブック」を参照）。

2-5. 国際交流科目

外国人留学生と日本人学生が交流を深め、さまざまな考え方や価値観のあることを認識し、互いに啓発しあうことを目的とし、原則として英語で行われる授業です。

学際的・先端的なテーマとした授業が入門レベルから専門レベルまで開講されます（開講一覧は巻末別表（p. 41～）を参照）。

全学教育科目（英語演習）、全学教育科目（英語演習以外）、学部専門科目及び大学院専門科目と合同開講されるものがあるため、国際交流科目としての履修登録がない場合、新渡戸カレッジの修了要件を満たすことにはならないので注意してください（詳細については、国際交流科目のシラバスを参照）。

2-6. 日本文化・社会に関する理解増進科目

英語で開講される日本文化に関する科目（開講一覧は巻末別表（p. 41～）を参照）で、すべて国際交流科目と合同開講されます。

一部の科目は、全学教育科目と合同開講されるものもあるため、国際交流科目として履修登録しない場合、新渡戸カレッジの修了要件を満たすことにはならないので注意してください。

2-7. 大学と社会（全学教育科目：総合科目（特別講義））

毎回の授業では、新渡戸カレッジのフェローやメンター（Ⅲ 1 フェロー・メンター制度（p. 25））など、産業界、行政、マスコミ等のさまざまな分野で活躍する本学の同窓生が講演を行います。

講師は「現在あるいは将来の職業人としてどのような資質が求められるか」「そのために大学でどのように学ぶことが必要か」「北海道大学や学生に期待することは何か」等のテーマについて、学生時代や職業人としての活動を振り返りながら講演します。講演を聴いて、履修者自身が社会とどのように関わっていくかを考えることが本授業の目的です。

学部カリキュラムに加え、全学教育科目の総合科目「特別講義」としても単位が認定されます。

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員
1	大学と社会-先輩からの熱いメッセージ-秋（秋ターム）	火5	亀野 淳
1	大学と社会-先輩からの熱いメッセージ-冬（冬ターム）	火5	亀野 淳

※ 秋タームと冬ターム（4 学期制）それぞれで異なる内容で行います。

2-8. グローバル・キャリア・デザイン

グローバル・キャリア・デザインは、海外協定校等、教育機関での授業受講体験・学生交流に加えて、グローバルに事業を展開する企業や国際機関等の海外拠点にて活躍する社会人や同窓生が講話を行い、その講師と対話することを約 2 週間で体験する授業です。本授業の履修を通して、学生がグローバルなキャリアについての視野を広げ、将来的にグローバルにもローカルにも活躍するような“グローカル”な人材として育てていくことを目指します。

学部カリキュラムの授業科目「グローバル・キャリア・デザイン」の単位に加え、全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）の単位が認定されます。

2-9. 新渡戸学（フェローゼミ）

「新渡戸学」とは、新渡戸稲造の精神に基づきつつ、グローバルリーダーに求められるスキルを身につけ、将来のキャリアを考えることを目的として、新渡戸カレッジが独自に開講する授業科目の総称です。

新渡戸学としては「フェローゼミ」「セルフキャリア発展ゼミ」の 2 科目が開講されます。

そのうち、「フェローゼミ」は、オナーズプログラム入校後、最初に取り組むべき必修科目で、少人数の演習形式で行われる授業です。

※フェローゼミは、1年次に単位を修得してください。

1 年次第 2 学期

単位	講義題目	開講日時	担当教員
1*1	新渡戸学（フェローゼミ）	集中*2、3、4	畑中貴美ほか

*1. 可否による評価です。

*2. 2024年10月～12月の間（主に土曜日）に集中講義型で開講されます。

*3. 初回の授業には、特別な理由がない限り必ず出席してください。

*4. 日程は年間予定表（p. 39～40）で確認してください。

目的

世界が抱えている諸問題について、実際に現地を視察して学ぶとともに、グループワークを通して、学問と社会のあり方や持続可能な社会のあり方を考え、同時にリーダーシップやチームワーク力を身につける。

目標

- 新渡戸カレッジの目標であるリーダーシップをゼミ活動の中で積極的に発揮することができる。
- 自分で考え、意見を出し、ともに議論し、明確な結論を導くことができる。
- ゼミにおける現地での学びを関連分野の知見と結び付けて説明することができる。
- ゼミのテーマのもと、持続可能な社会の実現に向けて自らの考えを表現することができる。

内容

ゼミ担当フェローの他、支援教員、テーマに関連する関係者が協力し、2024年度は 5 テーマで実施します。履修者はテーマに関する課題について、現地視察での学びや関連分野の知見をもとにグループで議論し、解決策を検討します。ゼミの成果発表の場である「公開シンポジウム成果報告会」では、すべてのゼミが一堂に会して、これまでのゼミの取り組みについて発表のうえ、質疑応答を行います。

備考

- 1年次生を対象とした授業科目です（現代日本学プログラム課程学生は2年次生を対象とします）。
- 8月に教育情報システム（ELMS）にて募集を通知します。
- 履修者は複数のテーマの中から興味のあるものを選択してください（履修希望者が集中した場合は抽選を行います）。
- 新渡戸カレッジ2年目以上の上級生等（チューター）がゼミを支援します。

2-10. 新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）

オーナーズプログラム学部カリキュラムの学生を対象とした選択科目で、合宿を含む演習形式の新渡戸カレッジ独自科目です。

1 学期

単位	講義題目	開講日時	担当教員
1* ¹	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	集中* ²	肖蘭・シュルーター智子ほか

*¹ 可否による評価です。

*² 2024年5～7月に開講し、合宿を含む集中講義型で実施されます。

目的

セルフキャリア発展ゼミは、合宿を含む継続的なセミナーであり、日常とは異なる空間での自己の洞察、仲間（新渡戸カレッジ生とフェロー）とのコミュニケーション、アクティブ・ラーニングを通して、自らの未来を構築していくための力を養うことを目的とします。

目標

- 学生が社会の現状を認識し、社会との関連のなかで自分自身の可能性を認識し、自らの未来を構築していく力を身につける。
- 学生が自ら目標を設定し、実現に向けたプロセスを考え、実行する。また、教員とフェローの助言を受けながら確認し、継続的に取り組む。
- 新渡戸コミュニティにおける教員、フェロー及び学生同士のコミュニケーションから、学生が自分の目標の実現に向けて取り組む際の手がかりを得る。
- 持続的な取り組みを通して、将来、社会や組織のリーダーに成長するための基本的な考え方とスキルを習得する。

内容

履修者は、ゼミの担当教員、担当フェローとともに合宿およびグループディスカッションに参加し、そこから得た気づきに基づき、自らの未来を考え、その実現に向けてプランを立てます。担当教員とフェローが学生の自律的な学びと成長を支援するための助言を行います。

備考

- 2年次以上の新渡戸カレッジ生を対象とした授業科目です。
- 4月に教育情報システム（ELMS）にて募集を通知します。
- 履修者 30 名程度・希望者多数の場合は先着順により決定します。
- 2学期にフォローアップセッションを行う予定です。（希望者のみ）。

2-11. 専門横断科目

より多様で幅広い教養を獲得すること、学際的な教養を獲得すること、専門性を追究する上で必要とされる新たな知識や手法を身につけることを目的とする授業科目です。

複数学部の学生を対象として共通の教育内容で開講されます。2年次以上の新渡戸カレッジ生を対象とした授業科目です。

当該授業科目として、実践英語（上級）、Hokkaido サマー・インスティテュート（以下「HSI」という。）、留学とキャリアデザインなどがあります。（開講一覧は巻末別表（p.41～）を参照）

2-12. 英語による学部専門科目

各学部において開講され、英語で行われる専門科目の授業です。

国際交流科目と合同開講される場合は、学部専門科目として履修してください。2年次より履修可能です。（開講一覧は巻末別表（p.41～）を参照）

2-13. インターンシップ（国内）

自分の専門分野や将来のキャリアに関連する企業、行政機関、各種団体等における1～2週間程度の就業体験を通して、実社会と接触し、学習意欲の向上や高い職業意識の育成をはかることを目的とします。

全学教育科目の共通科目としても単位が認定されます。

詳細は年度初めの履修説明会において説明されるため、履修希望者は必ず出席してください（説明会の日時・場所は高等教育推進機構、キャリアセンター等で確認してください。）。

2-14. 海外留学

北海道大学では、各学部等の状況に応じて、海外留学の意義と効果を考慮しつつ、タイプ別に多様な海外留学プログラムを用意しています。

海外留学の目的

海外留学の目的は、北海道大学の「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という4つの基本理念と新渡戸稲造の精神に基づき、海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の確立と、論理的な思考力と高度な専門能力を身につけることにあります。

北海道大学の海外留学のポリシー

海外留学は、学生が自律的に学び、研究する上での手段といえます。学生ひとりひとりが、国際的な視野を広げつつ、何を学び、何を研究するかを考え、海外留学の目標と計画を設定した上で、渡航することが求められます。

海外留学の種類

新渡戸カレッジにおける「海外留学」は、以下の表のとおり、本学が開講する（A）交換留学プログラム（2単位）、（B）短期留学プログラム（1単位）の2つのプログラムが中心になりますが、それ以外に（C）新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目（2単位以上）、（D）その他（1単位）によって単位を修得した場合も、新渡戸カレッジ「海外留学」の単位として認定されます。

(A) 交換留学プログラム	2単位	①大学間交流協定大学への留学
		②部局間交流協定大学への留学
(B) 短期留学プログラム	1単位	①学部専門レベル短期留学
		②国際インターンシップ
(C) 新渡戸カレッジが指定する オンライン共修科目	2単位以上	
(D) その他	1単位	

(A) 交換留学プログラム

交換留学とは、北海道大学の交流協定大学に1セメスターあるいは1年未満留学する制度です。交流協定大学は「大学間協定大学」と「部局間協定大学」の2種類に分かれます。

①大学間交流協定大学への留学

「大学間協定大学」へは、北海道大学に所属する正規学生（学部生・大学院生）がであれば所属にかかわらず留学できます。

②部局間協定大学への留学

「部局間協定大学」への留学は、各部局間で協定を締結している学部・大学院の在籍学生に限られます（部局間協定大学への留学の詳細は、各学部担当に確認してください）。

北海道大学は、海外の約50カ国の地域、250以上の大学等と学生交流協定を結んでおり、「**授業料不徴収**」の取り決めを行っています。授業料不徴収とは、北海道大学に留学期間中の授業料を納めれば、留学先の大学に授業料を払わなくてすむという制度です。

交換留学による留学であれば、留学先の大学で専門科目を履修することができ、留学先で取得した単位は、所属部局が認める範囲内で認定されます。

交換留学プログラムを新渡戸カリキュラム「海外留学」として単位認定するには、派遣先の大学で修得した単位が学修内容を報告の上、本学で単位認定あるいは単位互換されることが条件となります。

交換留学の詳細は、「北大生のための留学ハンドブック」を参照してください。

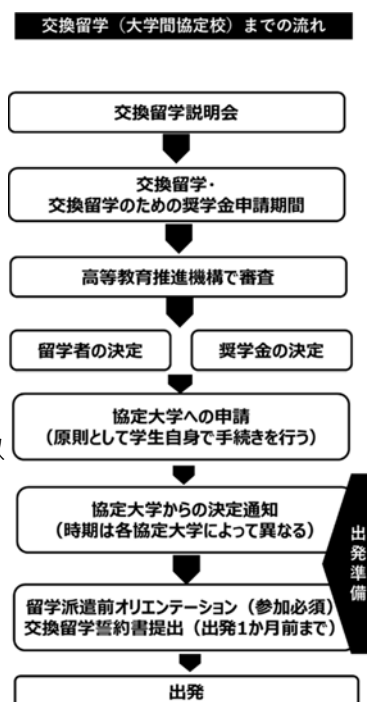
(B) 短期留学プログラム

短期留学とは、数週間（基本的に1科目相当（15コマ、45時間以上）の学習内容とする）、テーマ別に海外の協定大学等で学ぶプログラムです。ただし、卒業年次生は、最終学期に短期留学プログラム「海外留学」を履修しても、システム上、単位が認定されません。

短期留学プログラムには、①学部専門レベル短期留学（以下、「学部短期」）、②国際インターンシップの2種類があります。

① 学部専門レベル短期留学（学部短期）

学部等が独自に開発した短期留学プログラムで、単位認定を学部側で行います。新渡戸カレッジ海外留学の単位（1単位）が認められるには、「学部専門科目」として履修の上、単位を認定される必要があります。



学部専門レベル短期留学プログラムの2023年の例（海外ラーニング・サテライト事業を含む）

教育学部	ESD キャンパス・アジア・パシフィック・プログラム
経済学部	開発経済学演習
理学部	未知の植物資源開拓に向けた基礎生物学プログラム 化学特別講義
医学部医学科	シンガポール国立大学・北海道大学医学部医学科学生交流学生派遣ほか
工学部	日本財団 2023年 海洋開発サマースクール
農学部	北海道大学農学部森林科学科・ソウル大学校農業生命大学山林資源学科 合同フィールド実習事業ほか
獣医学部	国際獣医師人材を育成する獣医学教育世界展開プログラム
水産学部	東南アジアにおける持続的內水面漁業・養殖業管理リーダー研修ほか
その他	OGGs プログラム等

*上記の中には終了したものが含まれている可能性があります。また、上記以外に実施しているものもあるので、参加可能なプログラムについて所属学部にお問い合わせください。

② 国際インターンシップ

国際インターンシップは、2週間から6週間の間で海外就業を体験する授業です。教職員は同行せず学生のための渡航であり、問題解決能力や自己管理能力を育む機会にもなっています。就職直結型のインターンシップではなく、学生の総合的な人間力を培う実践的キャリア教育として、学生が自らの専門分野や進路に関連した企業、或いは全く異なる分野での実地研修を通し、国際性とリーダーシップ力を醸成するとともに、グローバルな視点で自らのキャリアや今後の進路について考えることを目的としています。

学部2年生以上（原則最終年次の学生を除く）の学生及び大学院生（留学生含む）が対象です。国際インターンシップを修了すると全学教育科目「インターンシップA」または「インターンシップB」の単位が認定されるほか、新渡戸カレッジの「海外留学」（1単位）が認められます。参加を希望する場合は、説明会に必ず出席してください。

(C) 新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目

新渡戸カレッジでは、海外留学担当教員が、原則、開講の前年度中に、必要な要件を充たしたオンライン授業のうち、新渡戸カレッジの「海外留学」科目として適当と判断されるものを新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目として決定の上、提示します。この授業を履修して、実施大学から成績評価を受けて合格した場合、新渡戸カレッジの「海外留学」として認定します。

○参考：指定対象要件

指定対象となる授業科目は、外国語によるオンライン共修授業（国内学生と海外学生が協働しながら学ぶPBL型授業*）であることを前提とします。

※ここでいうPBL型授業とは、Project-based learningあるいはProblem-based learningです。

○留意事項

- 1) 2024年度の指定科目は、後日ELMSにてお知らせします。
- 2) 新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目は、新渡戸カレッジ奨学金の対象になりません。

(D) その他

新渡戸カレッジでは、学外で募集あるいは実施される海外留学・研修についても、学生からの申請を受け付けます。そのうち、以下の要件を充たし、かつ審査の上、適当と認められるものについては、新渡戸カレッジ「海外留学」（1単位）として認定します。

○新渡戸カレッジ「海外留学」として認定されるための要件

- 以下の（１）～（４）のいずれかの要件を充たせば、新渡戸カレッジ「海外留学」として認定します。
- （１）本学の協定校等において、学部専門レベルで２単位相当以上の授業を外国語で履修し、単位認定されるもの（ただし、海外語学研修を除く。）。
 - （２）海外の高等教育機関、国際機関、企業等において、実働１０日以上、外国語環境でのインターンシップを行い、研修先から評価を得られるもの（所定の評価シートを利用）。
 - （３）学外の競争的資金・奨学金等を得て行く海外留学で、外国語環境で実働・実研修１０日以上を行うものであり、奨学金等支給先から修了証明が出るもの。
 - （４）その他、本学では単位認定されてはいないが、プログラム内容が、新渡戸カレッジ「海外留学」に相当するもの。

○新渡戸カレッジ「海外留学」として認定される具体的事例

- 協定校のサマースクールへの参加
- 国際機関でのインターンシップ
- 国内の公的機関が募集する海外留学・研修プログラムへの参加
- 民間団体等が応募者の中から選抜して行う海外留学・研修

※これらの例が全て対象となるわけではありませんので、事前に必ず相談してください。

○申請手続き

- （１）申請を検討している場合は、事前に相談すること。（相談先：新渡戸カレッジ海外留学担当教員）
- （２）遅くとも留学の２ヶ月前までに「留学計画書」（所定様式）を提出すること（留学の実施団体による審査があった場合、合格通知が届く前でも申請は可能）。留学計画には、授業や研修内容や研修先との調整状況がわかる資料（授業シラバス、インターンシップ内容、研修先との契約書、通信等）を添付すること。
- （３）留学後１ヶ月以内に、新渡戸カレッジに報告書（所定様式）を提出すること。
- （４）その他、必要に応じて、新渡戸カレッジが求める書類を提出すること。

○審査・認定

- （１）上記提出書類により新渡戸カレッジにおいて審査を行います*。
- （２）留学前および留学後に追加資料の提出を求められることがあります。また、面接を行う場合があります。
- （３）審査後、新渡戸カレッジから本人に認定の可否が通知されます（１～１.５ヶ月程度）
※新渡戸カレッジの海外留学担当教員を含む複数名の教員により事前審査を行います。

○留意事項

- （１）新渡戸カレッジが認定する「海外留学」は、新渡戸カレッジ奨学金の対象になりません。
- （２）危機管理・対応は自己責任で行ってください。
- （３）帰国後、本学の学生の国際性を高めるため、海外留学についての広報への積極的なご協力をお願いします。

海外留学の奨学金

新渡戸カレッジオーナーズプログラムに在籍する学生は、参加するプログラムのタイプ（交換留学・短期留学）に合わせて、奨学金が支給されます。

新渡戸カレッジ生が申請できる海外留学の奨学金の例

奨学金の名称	対象者	説明
北海道大学フロンティア基金新渡戸カレッジ（海外留学）奨学金*1 https://www.hokudai.ac.jp/fund/	交換留学あるいは短期留学に参加する新渡戸カレッジオナーズプログラム生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新渡戸カレッジ生の海外留学の促進を図るとともに、国際貢献に寄与する人間を育成することを目的に、北海道大学が給付する奨学金 ・ 通算 GPA、英語能力、留学に関するレポート等による審査の結果、学業成績と人物等が優れていると認められた学生に、より多くの金額を支給する奨学金制度 ・ 交換留学では留学期間中ほぼ毎月（支給月数は JASSO 基準に則る）、短期留学では1 回限り支給される。 ・ 詳細については、新渡戸カレッジ担当（学部）高等教育推進機構⑥番窓口で確認してください。
日本学生支援機構 JASSO 奨学金*2	海外留学支援制度（協定派遣）によって海外の協定大学へ8日以上1年以内の留学を行う本学の正規学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ JASSO 支給基準に従い、交換留学について留学期間中ほぼ毎月支給される給付型奨学金。
トビタテ！留学 Japan 日本代表プログラム、学研災グローバル人材育成奨学金ほか	本学の正規学生でプログラムの応募要件を充たす者	北海道大学が、本学の正規学生の応募をとりまとめて大学として申請するもの。
経団連グローバル人材育成スカラーシップほか	本学の正規学生でプログラムの応募要件を充たす者	学生個々人が応募するもの。

*1 北大フロンティア基金とは

北海道大学は、海外の卓越した大学に伍すわが国の基幹研究大学としての責任を果たし、世界トップレベルの研究成果を挙げるとともに、国際的な視野と品位ある自律的な個を確立した、地球規模の課題解決にリーダーシップを発揮できる国際的人材を育成するための一環として独自の「北大フロンティア基金」を 2006 年に創設した。本基金は、広く企業、個人、同窓生および教職員の貴重なご支援とご寄付により運営されている。特に、「新渡戸カレッジ（海外留学）奨学金」は、グローバル社会で活躍が期待される新渡戸カレッジ生の海外留学などを支援するために設立されたものである。新渡戸カレッジ生は、本基金の趣旨をよく理解し、海外留学での学びに大いに励んで頂きたい。

*2 JASSO 支給基準

派遣期間（日）	支給期間（月）	派遣期間（日）	支給期間（月）
8～31	1	187～217	7
32～62	2	218～248	8
63～93	3	249～279	9
94～124	4	280～310	10
125～155	5	311～341	11
156～186	6	342～365	12

※JASSOのホームページ等で確認すること。

2-15. 新渡戸カレッジ教育実施の方針（カリキュラムポリシー）と各授業科目

新渡戸カレッジでは、教育実施の方針（カリキュラムポリシー）として「5つの力」を掲げ、その育成を目指しています（p2）。「5つの力」とは、次のとおりです。

- ・自己成長力（自律的な個人の確立に向けて、継続的に精励する力）
- ・コミュニケーション力（外国語運用能力を含む、高いコミュニケーション力）
- ・多文化理解力（文化的背景の異なる他者の考えを理解し、尊重する力）
- ・課題解決力（さまざまな課題に対して、周囲との協働により解決を図る力）
- ・社会的倫理観（社会的役割を認識し、責任感・倫理観を持って行動する力）

下記の表は、上記の「5つの力」を修得するために、各授業科目がどのような役割を果たしているのかを示したものです。例えば、「グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）」（1単位）であれば、自己成長力20%、コミュニケーション力20%、多文化理解力30%、課題解決力10%、社会的倫理観20%という割合で、「5つの力」の修得を目指す構成になっています。下記の表のとおり、「5つの力」は1つの科目を履修すれば身につくようなものではありませんので、様々な授業を履修しながら、自分自身で意識的に獲得できるように学修を進めてください。

授業科目名	単位	教育実施の方針（5つの力）					備考
		自己成長力	コミュニケーション力	多文化理解力	課題解決力	社会的倫理観	
グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）	1	20	20	30	10	20	
グローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）	1	20	30	10	30	10	
留学支援英語	2	0	60	40	0	0	
海外短期語学研修	2	10	40	30	10	10	
国際交流科目	1 or 2	10	50	20	10	10	
日本文化・社会に関する理解増進科目	1 or 2	10	40	30	10	10	
専門横断科目	1 or 2	10	50	20	10	10	
英語による学部専門科目	1 or 2	10	40	20	20	10	
新渡戸学（フェローゼミ）	1	20	30	10	30	10	
新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	1	40	20	10	10	20	
インターンシップ（国内）	1 or 2	30	20	10	30	10	
フィールド型演習	2	20	30	10	30	10	
多文化交流科目	2	20	20	20	20	20	
大学と社会	1	30	20	20	10	20	
グローバル・キャリア・デザイン	2	20	30	30	10	10	
海外留学	1 or 2	20	20	30	20	10	

Ⅲ. 学びを充実させるためのしくみ

1. フェロー・メンター制度

新渡戸カレッジでは、国内外のさまざまな分野でリーダーとして活躍する同窓生等が新渡戸カレッジ生のキャリア教育に携わっています。具体的には、学部カリキュラムでは、「**新渡戸カレッジフェロー**」として、大学院カリキュラムでは「**新渡戸カレッジメンター**」として、授業やプログラムに参画するしくみ（「**フェロー・メンター制度**」）があります。

1-1. フェロー・メンター制度の意義について

フェロー・メンター制度は、新渡戸カレッジ生が同窓生等との出会いを通して、人生の意味や大学で学ぶことの意義を考え、自己省察する機会を得ることを目的として、当初、フェロー制度は学部生を対象とし、メンター制度は大学院生を対象として別々に設けられましたが、このたび、二つの制度を統合し、フェロー・メンター制度として、発展的に継承していくことになりました。

社会経験、人生経験の豊富なフェローやメンターと身近に接することを通して、新渡戸カレッジ生は、視野を広げ、世界の抱えるさまざまな課題に対してアンテナを張り、自分に何ができるかを考え、行動する力を鍛えることができます。新渡戸カレッジ生が人生設計（キャリアデザイン）を行う上で基礎となる力を養うという意味において、フェロー・メンター制度は、さらに大きな役割を果たしていくことが期待されます。

1-2. フェローの担当する授業科目について

フェローが担当する授業科目は、以下のものがあります。

カリキュラム	授業科目	内 容
学部カリキュラム	新渡戸学（フェローゼミ）	少人数演習形式の必修科目（p.16）
	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	合宿を伴う演習形式の選択科目（p.17）

2. チューター制度

新渡戸カレッジには、オナーズプログラムで学ぶ2年次以上の学部学生や大学院学生が「**チューター**」として、カレッジの授業やイベント等の支援業務に携わる「**チューター制度**」があります。チューターには、新渡戸カレッジの教員やフェローによる授業の支援、グループ活動のファシリテーターを含め、さまざまな業務に取り組む意欲のある人が求められます。

2-1. チューター制度の意義について

チューターは、さまざまな業務を通して、リーダーシップを実践し、成長をはかる機会を得ながら、経済的支援が受けられます。また、チューター同士、そしてサポートの対象となる学生やフェローおよび教員など、カレッジのさまざまな人と関わるすることができます。新渡戸カレッジのチューター制度は、授業の運営や学生の支援に留まらず、カレッジに関わる人々とのつながりを促進するしくみとなっています。

2-2. チューターの募集について

新渡戸カレッジの授業設計や授業支援に取り組む積極性をもち、学部・学年を超えたカレッジ生同士の交流をはかることに関心があるなど、チューター制度を自主的・積極的に活用しようとする意欲のある学

生を募集します。

資格

次のいずれかに該当する人が応募できます（チューター業務の経験の有無は問いません）。

- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する 2 年次以上の学部生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する大学院生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムを修了した本学大学院生

定員

前期 25 名程度・後期 25 名程度

選出方法

公募を行い、書類審査によって決定します。

2-3. コアチューターについて

チューター制度には、チューター全体の統括役を担う「**コアチューター**」が置かれています。コアチューターは、中心メンバーとしてリーダーシップを発揮し、チューターと担当教員、フェロー間の調整やチューターへの指導・助言を行います。コアチューターには、グローバルリーダーとしての資質を伸ばすべく、より積極的な姿勢が求められます。

資格

チューター経験者のうち、次のいずれかに該当する方の中から選ばれます。

- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する 3 年次以上の学部生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する大学院生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムを修了した本学大学院生

定員

通年3名程度

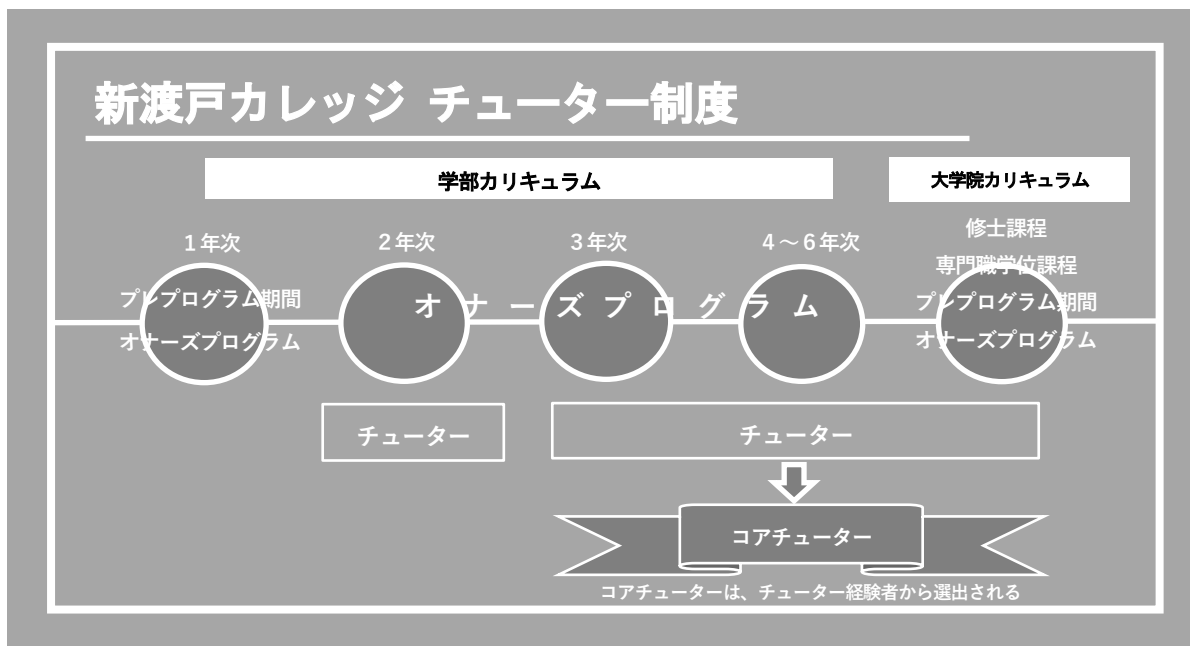
選出方法

チューターとしての業務を教員が評価して選出

2-4. チューターの採用スケジュール（予定）について

前期のチューターは、グローバル基礎科目（p.4）の支援を、後期のチューターは、新渡戸学（フェローゼミ）（p.16）の支援を主に行うほか、期間中の行事運営の支援を行うこともあります。

月	第1学期（グローバル基礎科目など） 勤務期間：3ヶ月（予定） （事前研修1ヶ月+授業実施2ヶ月）	月	第2学期（フェローゼミなど） 勤務期間：3ヶ月（予定） （授業実施2ヶ月+実施後1.2ヶ月（希望者のみ））
3	募集開始	7	募集開始
4	事前研修	8	
5		9	事前説明会、担当フェローとの打合せ
6	夏ターム授業開始	10	第2学期 授業開始
7		11	
8	事後研修	12	チューター振り返り



3. 授業以外のプログラム・行事

新渡戸カレッジは、授業科目のほか、新渡戸カレッジ生を対象とするプログラムや行事を提供します。参加は任意ですが、いずれもグローバルリーダーとしての資質の拡充やキャリア設計を進める上で役立つことから、積極的に活用してください。

3-1. ポイント制度

新渡戸カレッジ生を対象とするプログラムや行事に参加した場合、一定の要件を満たすことにより、ポイントが付与される制度です。

ポイントは、オーナーズプログラムにおいて、新渡戸カレッジ生として積極的に活動した証です。

学生表彰（新渡戸カレッジ奨励賞）を実施するうえでの判定基準のひとつとなります。

3-2. 講演会・レクチャーシリーズ

講演を聴いて学ぶ機会として、新渡戸カレッジの学部カリキュラム主催の「新渡戸カレッジ特別講演会」と「新渡戸サマライ塾 TOKYO」、大学院カリキュラム主催の「メンターフォーラム」、現代日本学プログラム主催のレクチャーシリーズがあります。

新渡戸カレッジ特別講演会

新渡戸稲造の業績に造詣の深い講師や、国際社会でグローバルに活躍する講師から、新渡戸稲造の精神や多様な文化状況下における経験について学び、自分の学生生活を見直すとともに、来るべき社会に向けて自らの目標を考える機会とする目的で年数回実施する予定です。

開講日時	回数	講師	参加対象
平日 6 講時	年数回程度 (予定)	北大関係教員・フェロー・外部招へい講師	新渡戸カレッジ生・ 全学生・教職員

※ 講演会に参加し、提出レポートが受理された場合は各回 3 ポイントを付与

新渡戸サマライ塾 TOKYO

2020 年度、新渡戸カレッジ東京支部開設に当たって創設された塾です。

グローバルに活躍されている卒業生を本学東京オフィスに迎え、オンラインで講演いただき、質疑応答を行います。それを通して、新渡戸カレッジ生をはじめとする学部生・大学院生・修了生がそれぞれ将来のキャリアについて自ら考える契機とするとともに、さらなる飛躍を促すことを目指します。あわせて本学同窓生の相互親睦を図ることも目的とします。

開講日時	回数	講師	参加対象
平日 6 講時 (予定)	年数回程度 (予定)	本学の卒業生、新渡戸カレッジ修了生等	新渡戸カレッジ生・全 学生・卒業生・新渡戸カレ ッジ修了生・教職員等

※ 講演会に参加し、提出レポートが受理された場合は各回 3 ポイントを付与

メンターフォーラム

大学院カリキュラムでは、メンターによる講演会等からなるメンターフォーラム（使用言語：英語）を年に 2 回開催しています。実社会での経験を活用して、新渡戸カレッジ生のキャリア意識の醸成、社会的視野の拡大、及び人的ネットワークの形成を支援する機会を与えています。

開講日時	回数	講師	参加対象
6/16 (日) 12/14(土)	年 2 回	新渡戸カレッジメンター	新渡戸カレッジ生・ 全学生・教職員等

※ メンターフォーラムへの参加により各回 1 ポイントを付与

現代日本学プログラム レクチャーシリーズ

現代日本学プログラムにおいて企画・実施する日本研究分野の専門家による講演会、セミナー、ワークショップ等（使用言語：英語）に参加し、現代日本学の最先端を学ぶことができます。

開講日時	回数	講師	参加対象
平日 4~6講時	各学期 7~8 回程度 (予定)	日本研究分野の専門家	新渡戸カレッジ生・全学生

※ レクチャーシリーズに参加し、提出レポートが受理された場合は各回 3 ポイントを付与

3-3. 入校式（新渡戸カレッジ生・フェローと関わる行事）（1.5-2 入校式(P7)参照）

授業以外で他のカレッジ生やフェローとの出会いや関わる機会を提供する行事として、入校式があります。

新しく入校した学生が、カレッジ生としての自覚を持って学習や活動に臨む姿勢を確立するよう、基調講演やガイダンス、先輩のカレッジ生による発表などを予定しています。特別な理由がない限り参加してください。

実施日	時刻 (予定)	場 所
10/5 (土)	9:30-10:30	高等教育推進機構 大講堂 (Sky HALL)

3-4. その他の大学による行事・プログラム

新渡戸カレッジ生の参加できる新渡戸カレッジ以外の行事・プログラムとして、学務部国際交流課によ

る「海外留学帰国報告会」、現代日本学プログラムによる「現代日本学プログラムタンデム学習」、各部署等の企画によるものがあります。

海外留学帰国報告会

各種留学プログラムから帰国した学生の帰国報告会に参加し、留学の意義や目的、海外生活の方法、勉学のコツ、友達の作り方等の留学情報を収集し、自分の留学時に役立てることができます。

実施日時	回数	参加対象
今後通知	年数回程度	新渡戸カレッジ生、全学生（発表者は除く）

※ 海外留学帰国報告会参加により各回 1 ポイントを付与（ただし、同一タイトルで実施されるものは、まとめて1ポイント）

現代日本学プログラムタンデム学習

現代日本学プログラム予備課程において、日本語を集中的に学んでいる学生との協同学習で、留学生への支援を通して言語運用（英語）の実践的使用、自国の文化の相対的理解、持続的な国際交流の礎を作ることを目的とします。

開講日時	時期	参加対象
金曜 2 講時（予定）	第 2 学期	新渡戸カレッジ生

※ 出席した場合には 3 ポイントを付与（ただし、全 15 回のうち10回以上出席することが条件となる）

部局等企画行事・プログラム

各部署等が企画・実施する講演会、セミナー、ワークショップ等の行事・プログラムのうち、新渡戸カレッジ生の自発的な参加を求めるものがあります。

参加によってポイントを得られますが、同一テーマのもとで複数回にわたって実施される行事は、1 回の行事とみなして付与します。

時期・回数	参加対象
随時	新渡戸カレッジ生、全学生

※ 出席した場合には各回 1 ポイントを付与（参加型行事の場合は 1 つのタイトルについて 1 ポイントを付与）。

※ 実施日の約1ヶ月前に案内を通知します。

3-5. 学外のコンペティション等への参加・学生による企画

学外の企業や団体等による行事・プログラムに参加して発表や展示等を行った場合や、新渡戸カレッジ生自身が行事やプログラムを企画した場合、新渡戸カレッジの教育目標に沿ったものであることを校長が認めた上で、ポイントが付与されます。

さらに、所定の手続きによる審査を経て助成金が支給される場合もあります。

学外の企業や団体等主催のコンペティション等への参加

新渡戸カレッジ生には、学外の企業や団体の主催によるコンペティション（例えば Hult Prize）等に参加し、様々な分野の学生によるグループワークやプレゼンテーションを通して、課題解決能力やリーダーシップを発揮する力などの実践的な力を身につけることを推奨します。

参加者には、新渡戸カレッジの教育目標に沿ったものであることを校長が認めた上で、一つのイベントにつき3ポイントが付与されます。また、所定の期日までに申請し、書類審査を経て採択されると、活動報告を行うことを条件に、一人あたり最大5万円の助成金が支給されます（詳細は新渡戸カレッジ担当からの通知を確認してください）。

3-6. 学生による企画行事

全新渡戸カレッジ生には、学部や学年の枠を超えた交流や自由な討論による学びの機会として、自ら自主ゼミ等の行事・プログラムを企画して、カレッジ生やそれ以外の学生・教職員などに参加を働きかけることが期待されます。

行事・プログラムの企画者には、1 行事につき 3 ポイントが付与され、参加者には、1 行事につき 1 ポイントが付与されます。

4. 活動・交流の場:新渡戸カレッジ学生交流室(大塚ルーム)

新渡戸カレッジ学生交流室（寄附者の大塚榮子前フェローに因んで「大塚ルーム」と称する。）は、新渡戸カレッジに在籍する学部生や大学院生が学習活動を行うための場所として、2020 年に高等教育推進機構内（1 階 N140 全学教育スタッフ室手前）に設置されました。

大塚ルームで行われる学習活動として、新渡戸カレッジの授業や各種ゼミの予習・復習をはじめ、自主的な学習会、学生企画の行事やプログラムの準備や打合せ、フェローやメンターとの交流、チューターや TA 業務などがあります。

大塚ルームは演習室くらいの広さ（定員 30 名弱まで）があり、グループワークのできる大きなテーブルのほか、ポータブル PC（Windows 搭載）、プリンター、ホワイトボード、プロジェクターを備えています。

4-1. 利用対象者

新渡戸カレッジに在籍する学部生と大学院生および新渡戸カレッジ関連の授業に採用された TA とチューターが利用できます。

4-2. 利用可能時間帯

平日 9 時～17 時を原則とします。

17 時以降や土日の利用を希望する場合は、新渡戸カレッジ担当（学部）に相談してください。

4-3. 利用予約方法

次の 1)と 2)を記入の上、下記の新渡戸カレッジ担当（学部）にメールで申し込んでください。

nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp

1) メール件名を「【大塚ルーム予約】希望日、学生番号 氏名」としてください。

（例：【大塚ルーム予約】10月27日（木）1234567 新渡戸稲造）

2) メール本文に、学生番号・氏名・利用希望日時・用途（例：学生企画行事の打合せのため、チューター業務のため、フェローゼミ打合せのため）・利用人数を記入してください。

4-4. 利用にあたっての注意事項

- 利用を希望する場合は、予約してください。
- 利用できるのは最長 2 時間までです。
- 備品は利用できますが、使用後は元に戻してください。
- 備品は共用のものなので、破損、汚損、紛失しないよう大切に扱ってください。
- プリンターの利用は、新渡戸カレッジの授業やプログラムで必要な場合に限りです。

- 室内での飲食は禁止です（ただし、こぼさないような密閉容器（ペットボトルやマイボトルなど）に入った飲み物の場合は可）。
- 室内を清潔に保ち、必要に応じて清掃を行うなど、次の利用者のための配慮をお願いします。
- 換気を十分に行ってください。
- 注意事項を守ることができない場合は、利用を禁止することがあります。

IV. 新渡戸カレッジ関連資料

1. 新渡戸カレッジ相談先

新渡戸カレッジでの履修・行事など全般

相談事項	担当	内線	場所・E-mail
履修・行事・その他	新渡戸カレッジ 担当（学部）	5414 5135	高等教育推進機構 1F ⑥番窓口 nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp

留学・海外研修等

相談事項	担当	内線	場所・E-mail	
留学アカデミックサポート (留学相談)	しょうらん 肖 蘭	8042	学生交流ステーション xiao.lan@oia.hokudai.ac.jp	
	ラ フェイ・ミシェル La Fay Michelle	4078	文学部E 棟 401 mlafay@let.hokudai.ac.jp	
留学情報・ 手続き	交換留学・ 海外短期語学研修	国際交流課	8054	学生交流ステーション 1F jryugaku@oia.hokudai.ac.jp
	国際インターン シップ		8040	学生交流ステーション 1F huiip@academic.hokudai.ac.jp
	グローバル・キャリア・ デザイン			学生交流ステーション 1F ambitious@oia.hokudai.ac.jp

授業

相談事項	担当	内線	場所・E-mail
グローバル基礎科目 学生自主企画 セルフキャリア発展ゼミ (CDS)	ともこ シュルーター 智子	8196	情報教育館 3F schlueter@high.hokudai.ac.jp
フェローゼミ	はたなか たかみ 畑中 貴美	8195	情報教育館 3F thatanaka@high.hokudai.ac.jp
セルフキャリア発展ゼミ (CDS)	しょうらん 肖 蘭	8042	学生交流ステーション xiao.lan@oia.hokudai.ac.jp
大学と社会 インターンシップ（国内）	かめの じゅん 亀野 淳	6928	情報教育館 4F jkameno@high.hokudai.ac.jp
留学生との交流	ラ フェイ・ミシェル La Fay Michelle	4078	文学部E 棟 401 mlafay@let.hokudai.ac.jp

※ スマートフォンや携帯電話から電話機能により連絡する場合は、011-706-「内線番号」としてください。

2. 学部カリキュラムの授業科目単位の取扱い・履修に関する注意事項

No.	授業科目	単位数	履修登録上限 設定科目	履修に関する注意事項
1	新渡戸学（フェローゼミ）	1		・新渡戸カレッジ独自科目として履修する （Web 履修登録システム上の申請は不要、申込方法等は、別途通知する）
2	海外留学	1 or 2		・新渡戸カレッジ独自科目として履修する ・短期留学プログラムは1単位、交換留学は2単位認定される
3	留学支援英語 注1	2 注2	○	・新渡戸カレッジ入校希望者のうち第1学期に履修を希望する場合の履修登録は、全学教育科目（英語演習）として4月12日（金）までに抽選に申し込むこと ・新渡戸カレッジ入校希望者のうち第1学期に履修を希望する場合は4月8日（月）から開始する希望の曜日講時の授業に参加すること ・全学教育科目（外国語演習 英語演習）として単位認定される
4	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	1		・新渡戸カレッジ独自科目として履修する （Web 履修登録システム上の申請は不要、申込方法等は、別途通知する）
5	海外短期語学研修	2 注2		・全学教育科目（外国語演習）として履修する ・夏季・春季集中
6	国際交流科目	1 or 2 注2	注3	・2年次以降の取扱いは学部に確認すること ・全学教育科目と合同開講の「英語演習」を国際交流科目として履修する場合は、国際交流課の窓口で申請すること ・国際交流科目として履修する
7	日本文化・社会に関する理解増進科目	1 or 2 注2		・国際交流科目として履修する
8	フィールド型演習 注1	2 注2		・全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）として履修する
9	多文化交流科目	2 注2	○	・履修登録は全学教育科目（多文化交流科目）として4月12日（金）までに抽選に申し込むこと ・新渡戸カレッジ入校希望者のうち第1学期に履修する場合は4月8日（月）から開始する希望の曜日講時の授業に参加する ・全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）として単位認定される
10	大学と社会	1	○	・全学教育科目の総合科目（特別講義）として履修する
11	グローバル・キャリア・デザイン	2		・履修希望者は、所定の説明会に必ず参加すること ・全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）として単位認定される ・夏季・春季集中

No.	授業科目	単位数	履修登録上限 設定科目	履修に関する注意事項
12	専門横断科目	1 or 2		・履修登録や単位の取り扱いは学部により異なる
13	英語による学部専門科目	1 or 2		・履修登録や単位の取り扱いは学部により異なる
14	インターンシップ (国内)	1 or 2 注2		・履修希望者は、所定の説明会に必ず参加すること ・全学教育科目（共通科目「インターンシップ」として単位認定される

注1 集中講義として開講されるものは履修上限単位に含まれない。詳細は別途掲示にて周知する。

注2 プレプログラム期間に修得した単位は、オナーズプログラムを履修する場合において、既修得単位として認める。

注3 国際交流科目については、1年次は履修上限単位に含まれない。2年次以上は進級先の学部により異なる。詳細は、高等教育推進機構国際教育研究部のウェブサイト (<https://isc.high.hokudai.ac.jp/>) を確認すること。

●オナーズプログラムの修了要件について

- (1) 所属学部において卒業の認定を受けること
- (2) オナーズプログラム学部カリキュラムにより、計9単位以上注の科目を修得すること

注) 計9単位以上について

- ① 上記No.1～No.3の授業科目うち、新渡戸学（フェローゼミ）を含む4単位以上を修得すること
- ② 上記No.4～No.14の授業科目うち、5単位以上を修得すること
- ③ ①と②を合わせて9単位以上を修得すること

－ 参 考 －

プレプログラム期間におけるオナーズプログラム入校要件授業科目の単位の取扱い・履修に関する注意事項

授業科目	単位数	履修登録上限 設定科目	備考（履修に関する注意事項）
グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）	1	○	・全学教育科目の総合科目（特別講義）として履修する ・金曜日5講時の受講希望者が多数の場合、抽選により、 <u>金曜日6講時に実施する同一授業の受講となる場合がある</u> ので注意すること
グローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）	1	○	・ <u>初回の授業には、特別な理由がない限り必ず出席すること</u>

注) オナーズプログラム入校要件に係る授業科目の必要単位数は、グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）1単位とグローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）1単位、計2単位です。

3. 入校(オナーズプログラム)までの手続き事項

1. 入校説明・相談会

日程	場所	主な説明事項
4月5日(金) 16:30~17:30	高等教育推進機構 Sky HALL(大講堂)	新渡戸カレッジ全般と入校までの準備 (プレプログラム期間)について
7月下旬~8月初旬 (日時は改めて通知)	高等教育推進機構 Sky HALL(大講堂)	新渡戸カレッジ全般と入校申請から入 校後のオナーズプログラムについて

※2回とも出席してください。

※令和6年度に限り2年次学生も対象となります。

2. 入校申請受付期間

対象	日程	申込方法
新入生、2年生	8月22日(木)~28日(水)	オンライン登録

3. 新渡戸カレッジ入校生合格発表・入校式

事項	日程	場所
合格発表	9月20日(金) 正午(予定)	高等教育推進機構 新渡戸カレッジ掲示板 (⑥番窓口前)
新渡戸カレッジ 入校式 (p.7、p.28)	10月5日(土) 9:30~10:30	高等教育推進機構 Sky HALL(大講堂)

4. プレプログラム期間の授業科目の履修

事項	日程	備考
全学教育科目 授業開始	4月8日(月)	グローバル基礎科目 (p.4、p.35) や 留学支援英語 (p.11) を含めた学部カリ キュラムの科目 (p.10) を、他の科目と のバランスをはかった上で早めに履修 することを推奨します。
第1次Web履修登録	4月6日(土)~12日(金)	
抽選科目の結果発表・ 追加申込	4月16日(火)	
第2次Web履修登録	4月16日(火)~18日(木)	
グローバル基礎科目 (p.4、p.35) 授業開始	4月12日(金) 5 or 6 講時	入校希望者は履修登録のうえ1回目か ら必ず受講してください。

5. 学部カリキュラム科目の履修・英語試験

【第1学期】

事項	日程	備考
全学教育科目 授業開始	4月8日(月)	留学支援英語 (p.11) を含め、学部カリ キュラムの科目 (p.10) を、他の科 目とのバランスをはかった上で早めに 履修することを推奨します。
第1次Web履修登録 、抽選科目の申込	4月6日(土)~12日(金)	
抽選科目の結果発表・ 追加申込	4月16日(火)	
第2次Web履修登録	4月16日(火)~18日(木)	

【第2学期】

事項	日程	備考
全学教育科目 授業開始	10月1日(火)	留学支援英語(p.11)を含め、学部カリキュラムの科目(p.10)を、他の科目とのバランスをはかった上で早めに履修することを推奨します。
第1次Web履修登録、 抽選科目の申込	9月19日(木)～25日(水)	
抽選科目の結果発表・ 追加申込	9月27日(金)	
第2次Web履修登録	9月27日(金)～10月4日(金)	
フェローゼミ (p.16) 授業開始	10月5日(土)	入校生は1回目から必ず受講してください。
TOEFL-ITP 実施	12月21日(土) (予定)	カレッジ生は無料で受験できます。英語力の維持・向上は在籍確認や留学に必要なので、積極的に受けてください。

4. 履修に関するQ&A

Q1 グローバル基礎科目や学部カリキュラムの授業科目は履修上限単位数に含まれますか？

A1 1年次については、次表のとおりです。2年次以上については、進級先の学部が定めます。**2 学部カリキュラムの授業科目単位の取扱い・履修に関する注意事項** (p. 34) もあわせて確認してください。

履修上限単位数に含まれるもの	履修上限単位数に含まれないもの
グローバル基礎科目、留学支援英語、多文化交流科目、大学と社会	留学支援英語(集中講義)、フィールド型演習(集中講義)、グローバル・キャリア・デザイン(集中講義)、海外短期語学研修(集中講義)、国際交流科目、新渡戸学

※ 1年次においては、留学支援英語、多文化交流科目を自由設計科目として登録及び登録区分の変更をすることによって、2単位までは履修上限設定外とすることができます。登録及び登録区分変更期間などの自由設計科目についての詳細は「総合教育部便覧」を参照してください。

Q2 学部カリキュラムの授業科目を履修したいのですが、すでに上限単位になってしまいました。履修する方法を教えてください。

A2 履修を希望する科目によって方法が異なります。

◆「留学支援英語」

次の3つの方法があります。

- 1) 履修上限単位数に含まれない集中講義の受講が可能です。夏季の集中講義を履修してください(詳細は p.12)。
- 2) 別の学期に受講することで上限単位の制限を回避することができます。
- 3) 1年次に自由設計科目として登録・登録期間変更を行うことができます(自由設計科目には2単位まで登録可能)。自由設計科目についての詳細は「総合教育部便覧」を参照してください。

◆「多文化交流科目」

次の2つの方法があります。

- 1) 別の学期に受講することで上限単位の制限を回避できます（日程など詳細は p.14）。
- 2) 1年次に自由設計科目として登録・登録期間変更を行うことができます（自由設計科目には2単位まで登録可能）。自由設計科目についての詳細は「総合教育部便覧」を参照してください。

◆「フィールド型演習」「グローバル・キャリア・デザイン」「海外短期語学研修」

集中講義で開講されるので履修上限単位数に含まれません。

◆「国際交流科目」

- 1年次は履修上限単位数には含まれません。
- 2年次以降は進級先の学部によって異なります。

Q3 学部カリキュラムの授業科目を自由設計科目にしても、新渡戸カレッジの修了要件として認められますか？

A3 新渡戸カレッジ修了要件として認められます。

Q4 留学支援英語を受講する予定ですが、同じ学期中に他の英語演習の受講もできますか？

A4 履修上限単位数の範囲内であれば、科目の抽選に申請して当選することで受講できます。

Q5 入校ができなかった場合、翌年度2年次入校に再チャレンジできますか？

A5 2024年度よりカリキュラムが変更されて、2年次入校制度が廃止されたため、再チャレンジはできませんので注意してください。

Q6 事情により大学を休学する場合、新渡戸カレッジにも連絡する必要がありますか？

A6 メール（nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp）にてお知らせください。

Q7 事情により新渡戸カレッジを退校したいのですが、⑥番窓口にて伝えることでよいのでしょうか。

A7 まずは、⑥番窓口にて相談してください。その結果、退校を希望する場合は、メール（nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp）にて、所属学部等、学生番号、氏名、退校希望年月日、退校理由をお知らせください。

2024 年度の予定 (4~9 月)

2023年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 月	1 水	1 土	1 月	1 木	1 日
2 火	2 木	2 日	2 火	2 金	2 月
3 水	3 金	3 月	3 水	3 土	3 火
4 木	4 土	4 火 夏ターム開始	4 木	4 日	4 水
5 金 入校説明会(第1回目)	5 日	5 水	5 金	5 月	5 木
6 土	6 月	6 木	6 土	6 火	6 金
7 日	7 火	7 金	7 日	7 水	7 土
8 月 春ターム開始	8 水	8 土	8 月	8 木	8 日
9 火	9 木	9 日	9 火	9 金	9 月
10 水	10 金	10 月	10 水	10 土	10 火
11 木	11 土	11 火	11 木	11 日	11 水
12 金	12 日	12 水	12 金	12 月	12 木
13 土	13 月	13 木	13 土	13 火	13 金
14 日	14 火	14 金	14 日	14 水	14 土
15 月	15 水	15 土	15 月	15 木	15 日
16 火	16 木	16 日	16 火	16 金	16 月
17 水	17 金	17 月	17 水	17 土	17 火
18 木	18 土 ㊤CDS(1回目)	18 火	18 木	18 日	18 水
19 金	19 日	19 水	19 金	19 月	19 木
20 土	20 月	20 木	20 土	20 火	20 金 入校生発表
21 日	21 火	21 金	21 日	21 水	21 土
22 月	22 水	22 土 ㊤CDS深川合宿(1日目)	22 月	22 木 入校申請開始	22 日
23 火	23 木	23 日 ㊤CDS深川合宿(2日目)	23 火	23 金	23 月
24 水	24 金	24 月	24 水	24 土	24 火
25 木	25 土	25 火	25 木	25 日	25 水
26 金	26 日	26 水	26 金	26 月	26 木
27 土	27 月	27 木	27 土	27 火	27 金
28 日	28 火	28 金	28 日	28 水	28 土 ㊤CDSフォローアップ
29 月	29 水	29 土	29 月	29 木 入校申請〆切	29 日
30 火	30 木	30 日	30 火	30 金	30 月
	31 金		31 水	31 土	

入校説明会(第2回目)
7月下旬~8月上旬
開催予定

㊤ オナースプログラム

2024年度の予定（10～3月）

10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月
1 火 秋ターム開始	1 金	1 日	1 水	1 土	1 土
2 水	2 土 IELTSテスト	2 月	2 木	2 日	2 日
3 木	3 日	3 火	3 金	3 月	3 月
4 金	4 月	4 水	4 土	4 火	4 火
5 土 入校式 フェローゼミ(第1回目)	5 火	5 木	5 日	5 水	5 水
6 日	6 水	6 金	6 月	6 木	6 木
7 月	7 木	7 土 公開シンポジウム・成果 報告会	7 火	7 金	7 金
8 火	8 金	8 日	8 水	8 土	8 土
9 水	9 土 フェローゼミ(第4回目)	9 月	9 木	9 日	9 日
10 木	10 日	10 火	10 金	10 月	10 月
11 金	11 月	11 水	11 土	11 火	11 火
12 土	12 火	12 木	12 日	12 水	12 水
13 日	13 水	13 金	13 月	13 木	13 木
14 月	14 木	14 土 CDSフォローアップ	14 火	14 金	14 金
15 火	15 金	15 日	15 水	15 土	15 土
16 水	16 土	16 月	16 木	16 日	16 日
17 木	17 日	17 火	17 金	17 月	17 月
18 金	18 月	18 水	18 土	18 火	18 火
19 土 フェローゼミ(第2回目)	19 火	19 木	19 日	19 水	19 水
20 日	20 水	20 金	20 月	20 木	20 木
21 月	21 木	21 土 TOEFL-ITPテスト	21 火	21 金 在籍確認 振返りレポート提出メ切	21 金
22 火	22 金	22 日	22 水	22 土	22 土
23 水	23 土 フェローゼミ(第5回目)	23 月	23 木	23 日	23 日
24 木	24 日	24 火	24 金	24 月	24 月
25 金	25 月	25 水	25 土	25 火	25 火 学位記授与式 新渡戸カレッジ修了式
26 土 フェローゼミ(第3回目)	26 火	26 木	26 日	26 水	26 水
27 日	27 水	27 金	27 月	27 木	27 木
28 月	28 木 冬ターム開始	28 土	28 火	28 金	28 金
29 火	29 金	29 日	29 水		29 土
30 水	30 土	30 月	30 木		30 日
31 木		31 火	31 金 在籍確認 英語スコア提出メ切		31 月

V. 卷末資料

別表：国際交流科目

2024 年度 1 学期「国際交流科目」

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Indigenous Peoples and Education 2024 I	2	月 2	ゲーマン ジェフリー	全学	英語演習 中級: Indigenous Peoples and Education 2024 I	TOEFL-ITP 420	
Popular Music & Society	2	月 2	ポール スパイサー	全学	英語演習 中級: ポピュラー ミュージックと社会	TOEFL-ITP 420	
Serious games: theory and design	2	月 2	ロブ ナイジェル ゴッドフリー イアン	全学	英語演習 中級: Serious games: theory and design	TOEFL-ITP 420	
Culture I (Theory)	2	月 4	スザンネ クリーン	学部	日本文化論 I	TOEFL-ITP 550	20
Introduction to Japanese History I: Between War and Peace	2	月 4	ミハヤエル シルツ	学部	Introduction to Japanese Studies I (History)	TOEFL-iBT 110	25
Introduction to Inorganic Materials Science	1	月 4	忠永 清治	単独	※開講日によって、現地/オンラインを切り替えることを予定		
Introduction to Environmental Earth Science	2	月 4	露崎 史朗	単独	※講義の中にミニ実験・野外散策等を含むため、オンラインでは開講できない		25
Countries and Cultures	2	月 5	ラフェイ・ミシェル	全学	社会の認識 国と文化	TOEFL-iBT 79	30
Introduction to Japanese Society	2	火 1	クック エマ	学部	Introduction to Japanese Studies III (Society)	TOEFL-iBT 80	
Values of Tourism	2	火 1	エデルヘイム ヨハン	全学	社会の認識 Value of Tourism		25
Integrated Science II	2	火 1	ウェイクマン・ケヴィン	全学	科学・技術の世界: Integrated Science II	TOEFL-ITP 550	
Linear Algebra I	2	火 1	小林 真平	全学	線形代数学 I		30
Electromagnetism II	2	火 1	鈴木 久男	学部	電磁気学 II		
Seminar in Electromagnetism II	1	火 2	鈴木 久男	学部	電磁気学演習 II		
Gender and Sexuality in Contemporary Japan	2	火 3	クック エマ	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 80	
Serious games: theory and design	2	火 4	ロブ ナイジェル ゴッドフリー イアン	全学	英語演習 中級: Serious games: theory and design	TOEFL-ITP 420	

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Current Events in Language and Society	2	水 1	クラッスン マーシャル ド ウロレー	全学	英語演習 中級: Current Events in Language and Society	TOEFL-ITP 420	
Theories of Second Language Acquisition	2	水 2	クラッスン マーシャル ド ウロレー	全学	英語演習 中級: Theories of Second Language Acquisition	TOEFL-ITP 420	
Introduction to Social Theory	2	水 3	クック エマ	学部	日本社会論 I	TOEFL-iBT 80	
History and Memory in Modern Japan	2	水 3	野澤 俊介/ ブル ジョナサン	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 80	20
Education and Society in Japan	1	水 3	阿部 匡樹	学部	教育学国際講義(日本の学校と社会)	TOEFL-ITP 500	20
Workshop on Intercultural Communication	2	水 4	山田 悦子	全学	英語演習 上級 異文化間コミュニ ケーションの実践	TOEFL-ITP 550	20
Japanese Politics	2	水 4	佐々田 博教	学部	Introduction to Japanese StudiesIV (Political Economy)	TOEFL-ITP 500	
Mindhacks: Organizing your Resources and Research in the Internet Era	2	水 4	ミヒヤエル シルツ	学部	Aspects of Japan I	Near native fluency in English is required	25
Language & Culture Through Film	2	水 5	ポール スパイサー	全学	英語演習 中級: Language & Culture Through Film	TOEFL-ITP 420	
Anthropology of (Im) Mobility	2	水 5	スザンネ クリーン	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-ITP 550	25
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	水 5	野澤 俊介	学部	Introduction to Japanese Studies II (Culture)	TOEFL-iBT 80	25
General Biology I	2	木 1	エレナ・フォルトゥナート	全学	生物学 I		
Creative Writing Workshop: Writing Short Stories	2	木 2	クー エリック	全学	英語演習 上級: Creative Writing Workshop: Writing Short Stories	TOEFL-ITP 500	
Writing about Japan for general publications	2	木 2	ナギー ラルカ	学部	Aspects of Japan II	TOEFL-iBT 80	
Multilingualism in Society	2	木 3	クー エリック	全学	英語演習 中級: Multilingualism in Society	TOEFL-ITP 420	
Language and Society	2	木 3	マンズブリッジ マイケル パトリック	全学	英語演習 中級: Language and Society	TOEFL-ITP 420	

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定員
The Allied Occupation of Japan and the collapse of the Japanese Empire	2	木 3	ブル ジョナサン	学部	Aspects of Japan I		20
Contemporary Migration/Mobilities in Asia through Literature	2	木 3	ナギー ラルカ	学部	Aspects of Japan II	TOEFL-iBT 80	
Statistical Mechanics II	2	木 3	アリンダム ダス	学部	統計力学II		
Geotechnical Foundation Engineering	2	木 3・ 木 4	磯部 公一	学部	Geotechnical Foundation Engineering	※ Basic knowledge of soil mechanics is required.	10
Seminar in Statistical Mechanics II	2	木 4	アリンダム ダス	学部	統計力学演習 II		
Contemporary issues in American media	2	木 4	マンスブリッジ マイケル パトリック	全学	英語演習 中級：Contemporary issues in American media	TOEFL-ITP 420	
Japanese Management	2	木 4	ピーター・フィルコラ	単独		TOEFL-iBT 80	40
Japanese Political History	2	木 5	佐々田 博教	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-ITP 500	
Historical International Experiences	2	木 5	ラフェイ・ミシェル	全学	英語演習 中級：歴史的国際体験	TOEFL-iBT 79	30
Japanese History (Theory & Practice) I	2	金 1	ブル ジョナサン	学部	日本歴史論 I		20
Electromagnetism I	2	金 1	鈴木 久男	学部	電磁気学 I		
Seminar in Electromagnetism I	1	金 2	鈴木 久男	学部	電磁気学演習 I		
Video game analysis	2	金 2	ロブ ナイジェル ゴッドフリー イアン	全学	英語演習 上級：Video game analysis	TOEFL-ITP 500	
Classical Mechanics I	2	金 3	ドラガン サラク	学部	力学 I		
Quantum Mechanics II	2	金 3	アリンダム ダス	学部	量子力学 II		
Seminar in Mechanics I	2	金 4	ドラガン サラク	学部	力学演習 I		
Seminar in Quantum Mechanics II	2	金 4	アリンダム ダス	学部	量子力学演習 II		
Translation and Localization of Japanese and English-Language Media	2	金 4	クラッスン マーシャル ウロレー	全学	英語演習 中級：Translation and Localization of Japanese and English-Language Media	TOEFL-ITP 420	
Career Planning	2	金 4	ピーター・フィルコラ	単独		TOEFL-iBT 80	40
Exercise on Scientific English	2	集中	比能 洋	学部	科学英語講読 Exercise on Scientific English		

2024 年度 2 学期「国際交流科目」

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Statistical Mechanics I	2	月 1	アリンダム ダス	学部	統計力学 I		
Seminar in Statistical Mechanics I	2	月 2	アリンダム ダス	学部	統計力学演習 II		
Introduction to Japanese Studies I (History)	2	月 3	ブル ジョナサン	学部	Introduction to Japanese Studies I (History)		20
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	月 4	スザンネ クリーン	学部	Introduction to Japanese Studies II (Culture)	TOEFL-ITP 550	25
Japanese History (Theory & Practice) II	2	月 5	ミヒヤエル シルツ	学部	日本歴史論 II	TOEFL-iBT 110	25
Christianity in Japan	2	月 5	ラフェイ・ミシェル	全学	社会の認識 日本におけるキリスト教	TOEFL-iBT 79	30
Immigrants and society	2	月 5	肖 蘭	全学	移民と社会を考える (Immigrants and society)	TOEFL-iBT61 TOEFL-ITP500	25
Integrated Science I	2	火 1	ソン・ユー (孫 宇)	全学		TOEFL-ITP 550	
History of Geology	2	火 1	マリ・ピトン	全学	英語演習 (地質学の歴史)		25
International Projects	2	火 2	高野 伸栄	学部	International Projects		
Introduction to Marine Science	2	火 3	パウア ジョン リチャード	全学	英語演習 中級: Introduction to Marine Science 「海洋科学入門」		25
Creative Writing Workshop: Writing Short Stories	2	火 3	クー エリック	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
Political Economy of Japan and East Asia	2	火 4	佐々田 博教	学部	日本制度論 II	TOEFL-ITP 500	20
Mindhacks: Organizing your Resources and Research in the Internet Era	2	火 4	ミヒヤエル シルツ	学部	Aspects of Japan I		
Material Markets: Readings in Financial History	2	火 5	ミヒヤエル シルツ	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 110	25
Current Events in Language and Society	2	水 1	クラッスン マーシャル ドゥロレー	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
Video game design history	2	水 1	ロブ ナイジェル ゴッドフリー イアン	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
Science and Technology in History	2	水 1	バイヤー・マルセル・バスカル	全学		TOEFL-ITP 550	
Quantum Mechanics I	2	水 1	アリンダム ダス	学部	量子力学 I		

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Seminar in Quantum Mechanics I	2	水 2	アリンダム ダス	学部	量子力学演習 I		
Japanese Culture II: Advanced Readings	2	水 2	クック エマ	学部	日本文化論 II	TOEFL-iBT 80	
Society II (Readings)	2	水 3	スザンネ クリーン	学部	日本社会論 II	TOEFL-ITP 550	20
Japanese Foreign Policy II	2	水 3	石見 禎	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-ITP 500	
Sustainability Studies beyond Hollywood Film (2024)	2	水 3	瀬名波 栄潤	学部	欧米言語文化論		
Indigenous Peoples and Education 2024 II	2	水 4	ゲーマン ジェフリー	全学	英語演習 上級	TOEFL-ITP 500	
Workshop on Intercultural Communication	2	水 4	山田 悦子	全学	英語演習 上級 異文化間コミュニケーションの実践	TOEFL-ITP 550	20
Multiculturalism in Hokkaido and Japan	2	水 4	クック エマ	学部	Multiculturalism in Hokkaido and Japan	TOEFL-iBT 80	
Field Bioscience in the Northern Biosphere	2	水 5	星野 洋一郎	全学	英語演習 上級: 北方生物圏フィールドバイオサイエンス		30
Rural Japan	2	水 5	スザンネ クリーン	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-ITP 550	20
Japanese Politics	2	水 5	石見 禎	学部	Introduction to Japanese Studies IV (Political Economy)	TOEFL-ITP 500	
Introductory Complex Function	1	木 1	アリンダム ダス	学部	複素関数論入門		
Introductory Fourier Analysis	1	木 1	ドラガン サラク	学部	フーリエ解析学入門		
Exercise in Introductory Fourier Analysis	1	木 1	ドラガン サラク	学部	フーリエ解析学入門演習		
Exercise in Introductory Complex Function	1	木 2	アリンダム ダス	学部	複素関数論入門演習		
Japanese Economy	2	木 2	オニエネケ・ゲチンティ・ビード	全学	英語演習 上級 (Japanese Economy)	TOEFL-ITP 550	20
Contemporary Japanese Society	2	木 3	ピーター・フィルコラ	単独		TOEFL 80	40
Mind and Language	2	木 3	マンスブリッジ マイケル パトリック	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
Contemporary Japanese Society	2	木 4	ピーター・フィルコラ	単独		TOEFL 80	40
Comparative international and Japanese media topics	2	木 4	マンスブリッジ マイケル パトリック	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
The Real Story of Child Language Acquisition	2	木 4	奥 聡	学部	英語学 (English Linguistics)	TOEFL-ITP 530	15

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Hokkaido: Then and Now	2	木 5	ラフェイ・ミシェル	全学	英語演習 中級：北海道～明治と令和	TOEFL-iBT 79	30
Introduction to Design Thinking	2	木 5	鈴木 久男	全学	Introduction to Design Thinking		
Translation and Localization of Japanese and English-Language Media	2	金 1	クラッスン マーシャル ド ウロレー	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
Video game design history	2	金 1	ロブ ナイジェル ゴッドフ リー イアン	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
Intermediate: Language Science in Manga, Anime and Beyond	2	金 1	原 由理枝	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 450	
Classical Mechanics II	2	金 3	ドラガン サラク	学部	力学II		
Seminar in Mechanics II	2	金 4	ドラガン サラク	学部	力学演習II		
Intermediate: Language & Culture Through Film	2	金 5	ポール スパイサー	全学	英語演習 中級	TOEFL-ITP 420	
General Biology II	2	未定	エレーナ・フォルトゥナート	全学	生物学II		

※開講形態の記載区分について

- ・ 全学：英語演習以外の全学教育科目と合同開講される講義
- ・ 学部：学部専門科目と合同開講される講義
- ・ 単独：合同開講はせず、国際交流科目として単独開講される講義

別表：日本文化・社会に関する理解増進科目

2024年度1学期「日本文化・社会に関する理解増進科目」

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	英語レベル	定員 (予定)	国際交流科目以外と 合同となる科目名
Introduction to Japanese Studies I (History)	2	月 4	ミヒャエル シルツ	TOEFL-iBT 110 Near native fluency in English is required	25	
Countries and Cultures	2	月 5	ラフェイ ミシェル ケイ	TOEFL-iBT 79	30	全学教育科目（社会 の認識）
Introduction to Japanese Studies III (Society)	2	火 1	エマ クック	TOEFL-iBT 80		
Gender and Sexuality in Contemporary Japan	2	火 3	エマ クック	TOEFL-iBT 80		
History and Memory in Modern Japan	2	水 3	野澤 俊介/ブル ジョナサン	History and Memory in Modern Japan	20	
Introduction to Japanese Studies IV (Political Economy)	2	水 4	佐々田 博教	TOEFL-IPT 500		
Mindhacks: Organizing your Resources and Research in the Internet Era	2	水 4	ミヒャエル シルツ	Near native fluency in English is required	25	
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	水 5	野澤 俊介	TOEFL-iBT 80	25	
Anthropology of (Im) Mobility	2	水 5	スザンネ クリーン	TOEFL-IPT 550	25	
The Allied Occupation of Japan and the collapse of the Japanese Empire	2	木 3	ブル ジョナサン		20	
Japanese Political History	2	木 5	佐々田 博教	TOEFL-IPT 500		

2024 年度 2 学期「日本文化・社会に関する理解増進科目」

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	英語レベル	定員 (予定)	国際交流科目以外と 合同となる科目名
Introduction to Japanese Studies I (History)	2	月 3	プル ジョナサン		20	
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	月 4	スザンネ クリーン	TOEFL-IPT 550	25	
Christianity in Japan	2	月 5	ラフェイ ミシェル ケイ	TOEFL-iBT 79	30	全学教育科目（社会 の認識）
Mindhacks: Organizing your Resources and Research in the Internet Era	2	火 4	ミヒャエル シルツ	Near native fluency in English is required		
Material Markets: Readings in Financial History	2	火 5	ミヒャエル シルツ	TOEFL-iBT 110 Near native fluency in English is required	25	
Japanese Foreign Policy II	2	水 3	石見 禎	TOEFL-IPT 500		
Introduction to Japanese Studies IV (Political Economy)	2	水 5	石見 禎	TOEFL-IPT 500		
Rural Japan	2	水 5	スザンネ クリーン	TOEFL-IPT 550	20	
Introduction to Japanese Studies III (Society)	2	木 3	ピーター フィルコラ	TOEFL-iBT 80	40	
Introduction to Japanese Studies III (Society)	2	木 4	ピーター フィルコラ	TOEFL-iBT 80	40	

別表：専門横断科目

2024年度1学期「専門横断科目」

開講部局	講義題目	単位	曜日講時 又は期間	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
高等教育推進機構	実践英語(上級)2024(1)	2	(春・夏) 木 4	WHITFIELD Dale Lee	
	留学とキャリア・デザイン	1	(夏) 水 4	肖 蘭	
	J-MCP オンラインプログラム	2	通年(集中)	肖 蘭	
	日本語文法入門 (中級文法)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 1A)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 1B)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 2A)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 2B)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 2C)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 3)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 4A)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
	日本語文法入門 (初級文法 4B)	1	夏ターム	鄭 惠先	○
HSI オリジナル	史跡ツーリズム：北海道の場合	1	夏ターム	La Fay Michelle Kay	○
	バイオ・ヘルスケアビジネス特別ワークショップ	1	夏ターム	前仲 勝実	○
	建築構造と耐震技術	1	夏ターム	白井 和貴	○
	インドの文化と社会入門 (STSI)	1	夏ターム	高橋 航圭	○
	日本語・文化基礎_オンライン授業 (OGGs)	1	夏ターム	田部 豊	○
	日本語・文化基礎_対面授業 (STSI)	1	夏ターム	田部 豊	○
	チュラロンコン大・香港大・北大 ジョイントサマーキャンプ	1	夏ターム	石塚 真由美	○
	観光アトラクション、ヘリテージとしての食	1	夏ターム	田代 亜紀子	○
	現代日本研究 (1)/(2)	2	夏ターム	Paichadze Svetlana	○
	戦後の日本外交と ODA の役割	1	夏ターム	佐々田 博教	○
	現代日本における家族役割の実践	1	夏ターム	佐々田 博教	○
	国際共創プロジェクト	1	夏ターム	佐々田 博教	○

開講部局	講義題目	単位	曜日講時 又は期間	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
	観光と持続可能でレジリエントな地域開発	1	夏ターム	齋藤 久光	○
	礼文国際考古学フィールドスクール（学部生対象）(1)/(2)	2	夏ターム	加藤 博文	○
	気候変動の心理学 2024	1	夏ターム	大沼 進	○
	Fundamentals of Marine Pathology Lecture	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Fundamentals of Marine Pathology Lab	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Marine Invertebrate Zoology Lecture	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Marine Invertebrate Zoology Lab	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Science Communication and Related Careers	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Techniques in STEM education for future teachers	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	HSI 日本社会入門	1	夏ターム	青木 麻衣子	○
	国際 SDGs 入門 (1)/(2)	2	夏ターム	加藤 悟	○
文	認知科学：文化心理学の最前線 2024 (1)/(2)	2	夏ターム	大沼 進	○
	社会変動論：現代台湾の市民社会・文化・技術：台湾へ向ける社会学的視点 (1)/(2)	2	夏ターム	伍 嘉誠	○
教育	人口崩壊問題と教育―性差のなき社会と健全な出生率を考える―	1	夏ターム	池田 恵子	○
	社会言語学と持続可能な教育―日本における言語とウェルビーイング (1)/(2)	2	夏ターム	近藤 健一郎	○
法	日本法入門	1	夏ターム	水野 浩二	○
経済	コーポレート・アントレプレナーシップ	1	夏ターム	岩田 智	○
	ビジネスモデル入門 (1)/(2)	2	夏ターム	岡田 美弥子	○
	マネジメントの本質 (1)/(2)	2	夏ターム	岡田 美弥子	○
理	理学共通演習Ⅰ「理学分野における特定課題研究 2024」	1	夏ターム	河村 裕	○
獣医	アドバンスト演習 応用アドバンスト：野生動物医学Ⅰ（動物園学）(1)/(2)	2	夏ターム	坪田 敏男	○
	アドバンスト演習 応用アドバンスト：野生動物医学Ⅱ（野生動物の保全と管理）(1)/(2)	2	夏ターム	坪田 敏男	○
	(実施プログラム確定後決定)	未定	通年	石塚 真由美	
情報基盤センター	サイバーセキュリティ基礎演習	1	1学期集中	南 弘征	

開講部局	講義題目	単位	曜日講時 又は期間	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
数理・データサイエンス 教育研究センター"	データ活用入門 A	1	夏ターム	行木 孝夫	
	データ活用入門 B	1	夏ターム	行木 孝夫	

2024 年度 2 学期「専門横断科目」

開講部局	講義題目	単位	曜日講時 又は期間	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
高等教育推進機構	実践英語（上級）2024 (2)	2	(秋・冬) 木 4	WHITFIELD Dale Lee	
獣医	アドバンスト演習 応用アドバンスト:野生動物医学Ⅲ(海獣類の保全学) (1)/(2)	2	秋ターム	坪田 敏男	○

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。

別表：英語による学部専門科目

2024 年度 1 学期「英語による学部専門科目」

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
文	Data Analysis & Academic Writing I:2024	2	火 2	ランディ エバンズ	
	Composition & Conversation I 2024	2	水 1	J. W. ラケット	
	Academic Writing I 2024	2	水 2	J. W. ラケット	
	文化心理学の最前線 2024	2	集中	大沼 進	SI (サマーインスティテュート)、専門横断科目、Cognitive Science: Frontiers in Cultural Psychology 2024
	現代台湾の市民社会・文化・技術：台湾へ向ける社会学的視点	2	集中	伍 嘉誠	SI (サマーインスティテュート)、専門横断科目、Social Change: Civil Society, Culture and Technology in Modern Taiwan: Sociological Perspective on Taiwan
教育	日本の学校と社会 2024	1	水 3 (春ターム)	阿部 匡樹	国際交流科目 (Education and Society in Japan)
	Effective English Communication 2024	2	金 2	Tyrel Eskelson	
法	演習 I	2	月 5	曾野 裕夫	法学部学生のみ履修可
	演習 II	3	月 5	曾野 裕夫	法学部学生のみ履修可
	法と経済学 I	2	火 3	ハズハ ブラニスラヴ	国際交流科目 (Law and Economics I)
経済	マネジメントの本質	2	集中	岡田 美弥子	SI (サマーインスティテュート)、専門横断科目、マネジメントの本質 (1)/(2)
	ビジネスモデル入門	2	集中	岡田 美弥子	SI (サマーインスティテュート)、専門横断科目、ビジネスモデル入門 (1)/(2)
理	電磁気学演習 II	2	火 2	鈴木 久男	・シラバスに明記予定
	科学論文演習	2	木 3~5	小亀 一弘	・シラバスに明記予定
	統計力学演習 II	2	木 4	Arindam Das	・シラバスに明記予定
	量子力学演習 II	2	金 4	Arindam Das	・シラバスに明記予定
	科学英語講読	2	集中	比能 洋	・シラバスに明記予定 ・次と同一科目 (旧カリ)
	科学英語講読	2	集中	比能 洋	・シラバスに明記予定 ・上記と同一科目 (新カリ)
	理学共通演習 I (理学分野における特定研究課題 2024)	1	集中	河村 裕	・シラバスに明記予定 ・HSI2024 提供科目、専門横断科目

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
歯	歯学英语Ⅰ	1	月 5	パート・ブリックリン・ゼフ	歯学部の学生のみ履修可
薬	薬学英语Ⅱ Pharmaceutical English Ⅱ	1	月 2	脇本 敏幸	薬学部の学生のみ履修可
	薬学英语Ⅰ Pharmaceutical English Ⅰ	1	金 2	足利 俊彦	薬学部の学生のみ履修可
工	材料工学実験Ⅰ	2	月 3,月 4, 木 3,木 4	米田 鈴枝	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	寒地環境工学	2	月 3,木 5 (夏ターム)	山田 朋人	2021年度以前入学者対象科目
	寒地環境工学	2	月 3,木 5 (夏ターム)	山田 朋人	2021年度以前入学者対象科目
	寒地環境工学	2	月 3,木 5 (夏ターム)	山田 朋人	
	寒地環境工学	2	月 3,木 5 (夏ターム)	山田 朋人	
	Climate Change	2	月 3,木 5 (夏ターム)	山田 朋人	2022年度以降入学者対象科目
	Climate Change	2	月 3,木 5 (夏ターム)	山田 朋人	2022年度以降入学者対象科目
	水理学Ⅰ	2	火 2	山田 朋人	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	水理学Ⅰ	2	火 2	山田 朋人	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	ロボット工学(機械情報コース)	2	火 2,木 2 (春ターム)	清水 裕樹	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	ロボット工学(機械システムコース)	2	火 2,木 2 (春ターム)	清水 裕樹	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	維持管理工学	2	火 3,木 4 (夏ターム)	長井 宏平	2021年度以前入学者対象科目
	維持管理工学	2	火 3,木 4 (夏ターム)	長井 宏平	2021年度以前入学者対象科目
	Maintenance Engineering for Sustainable Infrastructure	2	火 3,木 4 (夏ターム)	長井 宏平	2022年度以降入学者対象科目
	Maintenance Engineering for Sustainable Infrastructure	2	火 3,木 4 (夏ターム)	長井 宏平	2022年度以降入学者対象科目
科学技術英語演習Ⅰ	1	水 2	杉浦 聡志	2020～21年度入学者対象(英文科目名修正)	

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
	Academic Communication I	1	水 2	杉浦 聡志	2022 年度以降入学者対象科目
	Academic Communication I	1	水 2	杉浦 聡志	2022 年度以降入学者対象科目
	土木計画学演習	1	水 4	峪 龍一	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	土木計画学演習	1	水 4	峪 龍一	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	地盤基礎工学	2	木 3,木 4 (春ターム)	磯部 公一	2021 年度以前入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	地盤基礎工学	2	木 3,木 4 (春ターム)	磯部 公一	2021 年度以前入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Geotechnical Foundation Engineering	2	木 3,木 4 (春ターム)	磯部 公一	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Geotechnical Foundation Engineering	2	木 3,木 4 (春ターム)	磯部 公一	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	化学英語(B クラス)	2	金 1	谷 博文	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	化学英語(A クラス)	2	金 2	谷 博文	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	科学技術英語演習	1	金 3	北垣 亮馬	
	学外実習 II	1	集中	橋本 直幸	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	科学英語演習	1	集中	橋本 直幸	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
農	畜産科学演習 II	1	月 1	高橋 昌志	農学部畜産科学科の学生のみ履修可
	無機化学	2	月 1,木 1 (春ターム)	内田 義崇	
	応用計量経済学	2	水 3	合崎 英男	農学部農業経済学科の学生のみ履修可
	応用生命科学演習 III	1	水 3,木 4 (春ターム)	奥山 正幸	農学部応用生命科学科の学生のみ履修可
	生物資源科学特講	2	木 3	荒木 仁志	平成 27 年 4 月以降に 2 年次進級した農学部 4 年生のみ適用

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
	生物機能化学演習Ⅳ	1	金 3	吹谷 智	農学部生物機能化学科の学生のみ履修可
	森林科学演習Ⅱ	1	金 5	庄子 康	農学部森林科学科の学生のみ履修可
	森林動態実習	1	集中	斎藤 秀之	農学部森林科学科の学生のみ履修可
	国際森林実習	1	集中	庄子 康	農学部森林科学科の学生のみ履修可
	国際農学概論Ⅱ 新グローバル化時代における地域文化・産業としての農業	2	集中	石塚 敏	農学部の学生のみ履修可
獣医	獣医学専門セミナーⅠ	0.5	月 5	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）一部、論文指導等で英語開講される場合のみ
水産	海洋生物科学科開講	1	木 2	海洋生物科学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可
	海洋資源科学科開講	1	木 2	海洋資源科学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可
	増殖生命科学科開講	1	木 2	増殖生命科学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可
	資源機能化学科開講	1	木 2	資源機能化学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。
- ・ 「備考」欄に記載したもの以外にも、履修にあたっての条件等が設けられている場合があるので、必ずシラバスで確認すること。

2024 年度 2 学期 「英語による学部専門科目」

学部	講義題目	単位	曜日講時	担当教員	備考（履修制限など）
文	Data Analysis & Academic Writing II:2024	2	火 2	ランディ エバンズ	
	Composition & Conversation II 2024	2	水 1	J. W. ラケット	
	Academic Writing II 2024	2	水 2	J. W. ラケット	
	Sustainability Studies beyond Hollywood Film 2024	2	水 3	瀬名波 栄潤	国際交流科目、現代日本学プログラム、Sustainability Studies beyond Hollywood Film (2024)
	生成文法の研究 I:2024	2	木 4	奥 聡	国際交流科目、現代日本学プログラム、The Real Story of Child Language Acquisition
法	法と経済学 II	2	水 4	ハズハ ブラニスラヴ	国際交流 II（Law and Economics II）
	演習 I	2	水 5	曾野 裕夫	法学部学生のみ履修可
	演習 II	3	水 5	曾野 裕夫	法学部学生のみ履修可
	演習 I	2	水 5	土井 翔平	法学部学生のみ履修可
理	力学演習 II	2	金 4	SALAK Dragan	・シラバスに明記予定
	生物学特別講義IV(減数分裂の分子機構)	1	集中	黒岩 麻里	・シラバスに明記予定
医・医	免疫学	2	集中	小林 弘一	医学部医学科の学生のみ履修可
医・保	地域調査法	1	木 1 (秋ターム)	山内 太郎	・保健学科の学生のみ履修可 ・曜日・講時変更の可能性あり ・一部日本語使用
	国際保健学	1	金 4 (秋ターム)	山内 太郎	・保健学科の学生のみ履修可 ・曜日・講時変更の可能性あり
歯	歯学英语 II	1	月 5	バート・ブリックリン・ゼフ	歯学部の学生のみ履修可
工	Geospatial Information Technology	2	月 2,木 2 (冬ターム)	高橋 翔	2022 年度以降入学者対象科目
	Geospatial Information Technology	2	月 2,木 2 (冬ターム)	高橋 翔	2022 年度以降入学者対象科目
	Computational Continuum Mechanics	2	月 3,木 3 (冬ターム)	岩崎 理樹	2022 年度以降入学者対象科目
	Computational Continuum Mechanics	2	月 3,木 3 (冬ターム)	岩崎 理樹	2022 年度以降入学者対象科目

学部	講義題目	単位	曜日講時	担当教員	備考（履修制限など）
	材料科学基礎英語	2	月 4	坂入 正敏	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Smart Transport Network	2	月 4,木 4 (秋ターム)	杉浦 聡志	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Smart Transport Network	2	月 4,木 4 (秋ターム)	杉浦 聡志	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	国際プロジェクト論	2	火 2	高野 伸栄	2021 年度以前入学者対象科目
	国際プロジェクト論	2	火 2	高野 伸栄	2021 年度以前入学者対象科目
	International Projects	2	火 2	高野 伸栄	2022 年度以降入学者対象科目
	International Projects	2	火 2	高野 伸栄	2022 年度以降入学者対象科目
	Academic Communication III	1	火 4	渡部 靖憲	2022 年度以降入学者対象科目
	Academic Communication III	1	火 4	内田 賢悦	2022 年度以降入学者対象科目
	科学技術英語演習 II	1	水 2	西村 聡	2019 年度以前入学者対象(英文科目名修正)
	科学技術英語演習 II	1	水 2	西村 聡	2020～21 年度入学者対象(英文科目名修正)
	科学技術英語演習	1	水 2	西村 聡	2021 年度以前入学者対象科目
	Academic Communication II	1	水 2	西村 聡	2022 年度以降入学者対象科目
	Academic Communication II	1	水 2	西村 聡	2022 年度以降入学者対象科目
	材料工学実験 II	2	水 3,水 4, 金 3,金 4	米田 鈴枝	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	複雑系の物理学	2	木 3	矢久保 考介	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
農	畜産科学演習 I	1	月 1	高橋 昌志	農学部畜産科学科の学生のみ履修可
	畜産科学演習 III	1	月 3	高橋 昌志	農学部畜産科学科の学生のみ履修可
	生物機能化学演習 III	1	火 4	吹谷 智	農学部生物機能化学科の学生のみ履修可
	根圏制御学	2	水 2	江澤 辰広	
	応用生命科学演習 IV	1	水 3	奥山 正幸	農学部応用生命科学科の学生のみ履修可
	生物機能化学演習 V	1	水 4	吹谷 智	農学部生物機能化学科の学生のみ履修可

学部	講義題目	単位	曜日講時	担当教員	備考（履修制限など）
	農資源経済学概論	2	木 3	齋藤 陽子	農学部 of 学生のみ履修可
	応用生命科学演習 II	1	木 4	奥山 正幸	農学部応用生命科学科 of 学生のみ履修可
獣医	獣医英語演習	0.5	金 5	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）一部、論文指導等で英語開講される場合のみ
	獣医学専門セミナー II	0.5	水 5	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）一部、論文指導等で英語開講される場合のみ
水産	海洋生物科学科開講	1	木 2	海洋生物科学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可
	海洋資源科学科開講	1	木 2	海洋資源科学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可
	増殖生命科学科開講	1	木 2	増殖生命科学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可
	資源機能化学科開講	1	木 2	資源機能化学科長	水産学部 3 年次以上学生のみ履修可

< 注意事項 >

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。
- ・ 「備考」欄に記載したもの以外にも、履修にあたっての条件等が設けられている場合があるので、必ずシラバスで確認すること。

2024 年度通年科目・通年集中（不定期）「英語による学部専門科目」

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
歯	国際歯科学	1	通年不定期	学部長	歯学部の学生のみ履修可
獣医	アドバンスト演習（講義題目複数あり）	0.5 又は 1	通年集中	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）英語またはバイリンガルで実施される講義題目のみを「英語による学部専門科目」の対象とする。 該当講義題目多数あり。現在、調整中
	短期現地実習Ⅰ	1	通年集中	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）海外での実習のみを「英語による学部専門科目」の対象とする。
	短期現地実習Ⅱ	1	通年集中	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）海外での実習のみを「英語による学部専門科目」の対象とする。
	長期現地実習	2	通年集中	教務委員長	（平成 31 年以降入学者）海外での実習のみを「英語による学部専門科目」の対象とする
水産	特別講義Ⅰ	1	不定期		英語にて開講されるものに限る
	特別講義Ⅱ	2	不定期		英語にて開講されるものに限る
	特別実習Ⅰ	1	不定期		英語にて開講されるものに限る
	特別実習Ⅱ	2	不定期		英語にて開講されるものに限る

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。
- ・ 「備考」欄に記載したもの以外にも、履修にあたっての条件等が設けられている場合があるので、必ずシラバスで確認すること。